

# 目 次

目 次	1
1. 2006（平成 18）年度の主な活動	3
* 2006（平成 18）年度の入館者一覧	
2. 資料の収集・利用	5
2-1 資料の収集	5
(1) 受 贈	
(2) 保管換	
(3) 寄 託	
2-2 資料の利用	6
(1) 貸 与	
(2) その他	
3. 展示活動	8
3-1 常設展示	8
(1) 歴史展示	
(2) 美術・工芸展示	
(3) その他の館内展示物	
3-2 特別展示	14
(1) 自主企画展	
(2) 別館築 100 周年記念事業	
(3) 共催展等	
* 2006 年度特別展一覧	
(4) 京都府民ギャラリー事業への協力	
3-3 映 画	26
(1) 常設上映	
(2) 特別上映・共催事業	
(3) 映像ギャラリー常設展示	
(4) 映画関係資料の整理	
(5) 京都府映像文化センター運営委員	
4. 調査研究活動	29
4-1 学芸員の活動	29
(1) 博物館研究費による研究	
(2) 外部研究費・共同研究等による研究	
(3) 出講・委嘱	
(4) 学芸員の業績	
(5) ワークショップ開催件数と参加人数	

5. 普及活動	… … … … … … … … … … … …	33
5-1 出版物	… … … … … … … … … … … …	33
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』		
(2) 京都文化博物館年報		
(3) 展覧会図録		
5-2 講演会・音楽会	… … … … … … … … … … … …	33
(1) 講演会など		
(2) 音楽会		
5-3 博物館実習	… … … … … … … … … … … …	35
5-4 その他の活動	… … … … … … … … … … … …	35
(1) 資料閲覧室		
(2) 文化情報コーナー		
(3) 生涯学習ボランティア		
(4) 団体案内		
(5) 京都文化博物館友の会		
(6) 地域との連携		
6. ギャラリー事業	… … … … … … … … … … … …	39
6-1 5・6階展示室	… … … … … … … … … … … …	39
(1) 京都文化財団展示室運営委員会		
(2) 美術・工芸作家の利用		
(3) 生涯学習的発表期間の利用		
(4) 一般の利用		
6-2 別館ホール	… … … … … … … … … … … …	42
7. 管理・運営	… … … … … … … … … … … …	43
7-1 経営・企画委員会	… … … … … … … … … … … …	43
7-2 組織と職員	… … … … … … … … … … … …	43
(1) 組織		
(2) 京都文化財団役員		
(3) 京都文化博物館職員		
7-3 施設	… … … … … … … … … … … …	44
(1) 本館関係		
(2) 別館関係		
7-4 ろうじ店舗	… … … … … … … … … … … …	45
8. 2006（平成18）年度のあゆみ	… … … … … … … … … … … …	46

# 1. 2006（平成18）年度の主な活動

2006年6月、「京都文化博物館別館築100周年記念事業」が行われた。別館の建物は、辰野金吾とその弟子・長野宇平治の設計により1906年6月に日本銀行京都支店として竣工した明治時代の代表的近代建築の一つであり、国の重要文化財に指定されているところであるが、その有効な活用策はかねてからの課題であった。2004年、京都府の「にぎわい創出事業」により別館の整備が図られ、翌年5月からは無料ゾーンとしてリニューアルオープンし、以来多くの来館者に親しまれるとともに、地域の活性化にも寄与しているところである。

この100周年記念事業では、別館のリニューアル効果を生かしながら、本館と一体的に運営される企画として取り組まれた。1ヶ月にわたって、別館ホール内に「鯉山」が建ち、懸装品の一部が飾られるとともに、折々祇園囃子の実演も行われる中、本館3階では「祇園祭懸装品展」が行われたほか、「貨幣の歴史と近代京都100年展」「近代建築写真展」が併せて開催され、多彩な関連イベントも実施され、延べ3万5千人余の入館者を迎えることができた。

2006年度の常設展・特別展の入館者数は、合計35万2千人であった。常設展の入館者は4万6千人と、5万人台を切る結果となったが、特別展からの入館者9万4千人を含めれば、14万人が観覧したことになる。特別展の入館者は31万6千人と、前年度に引き続き30万人台を維持することができた。

今年度の自主企画展は、10月19日から12月3日まで「**始皇帝と彩色兵馬俑展**」を、2月24日から3月31日まで「**近世都の工芸展**」を開催した。

「始皇帝と彩色兵馬俑展」は、中国・漢代の司馬遷が著した『史記』を切り口に、春秋戦国時代から漢武帝までの700年間に焦点をあてて、『史記』と考古学の接点となる作品群を厳選して展観。日本での初公開となる彩色の兵馬俑や色鮮やかな壁画、金・銀・メノウをあしらった副葬品などとともに、秦の始皇帝の兵馬俑坑を細密な姿でとらえたVRシアターも併設し、好評を得た。

1994年、平安建都1200年記念事業「大唐長安展」開催をきっかけに京都府と陝西省、京都文化博物館と陝西歴史博物館とは友好提携を結んだが、「始皇帝と彩色兵馬俑展」はこの両府省及び両館の友好交流を記念するものである。

「近世都の工芸展」は、千年にわたって栄えた都・京都で育まれた工芸の珠玉の数々を展覧した。近世初期には、本阿弥光悦、野々村仁清、尾形光琳、尾形乾山が有名であるが、京都はこの他にも多くの優れた



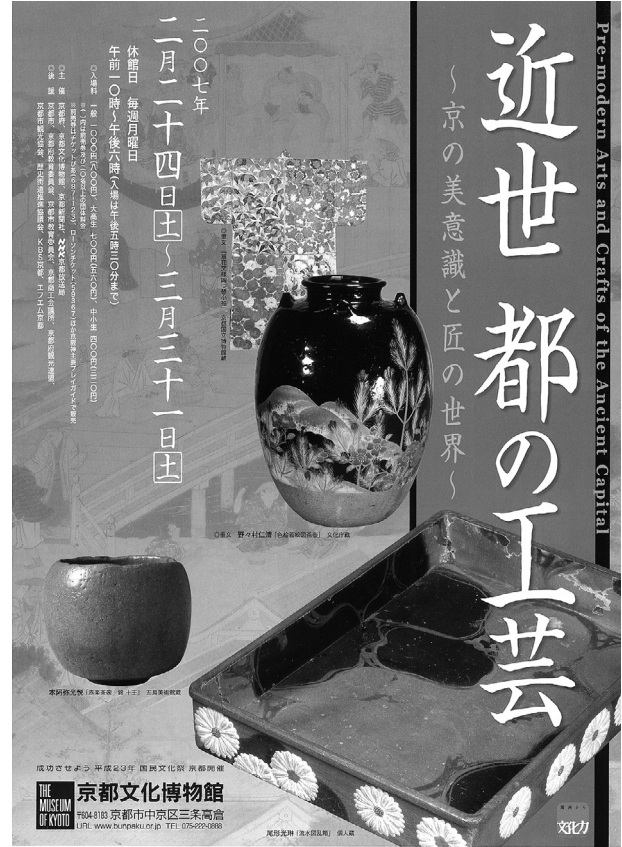
「別館築100周年記念」ちらし

職人を輩出しており、これらの職人の層の厚さと多様さが都である京都ならではの特性であるといえる。これらの優れた工芸品とともに、当時の職人の姿を描いた「職人尽絵」「洛中洛外図」などの絵画や文献資料もあわせて展示することにより、複合的に近世のものづくりの諸相を展開した。

入館者数は「始皇帝と彩色兵馬俑展」が70,969人、「近世都の工芸展」が17,535人であった。



「始皇帝と彩色兵馬俑展」ちらし



「近世 都の工芸展」ちらし

2006(平成18)年度の入館者一覽

(単位：人)

年月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2006.4	2,125	1,279	3,404	6,438	6,267	12,705	8,563	7,546	16,109	5,185	6,224	930	12,339	28,448
5	2,825	1,372	4,197	11,995	7,193	19,188	14,820	8,565	23,385	2,595	6,051	7,346	15,992	39,377
6	3,054	1,992	5,046	17,638	8,236	25,874	20,692	10,228	30,920	3,834	5,283	0	9,117	40,037
7	2,450	1,478	3,928	21,724	12,054	33,778	24,174	13,532	37,706	2,234	3,181	1,410	6,825	44,531
8	2,307	1,002	3,309	22,900	10,993	33,893	25,207	11,995	37,202	4,392	3,889	2,284	10,565	47,767
9	2,166	1,122	3,288	27,699	18,208	45,907	29,865	19,330	49,195	3,335	1,746	4,340	9,421	58,616
10	2,882	1,339	4,221	22,740	15,818	38,558	25,622	17,157	42,779	7,053	6,371	31,320	44,744	87,523
11	1,875	2,452	4,327	27,906	17,696	45,602	29,781	20,148	49,929	1,624	8,825	5,069	15,518	65,447
12	1,961	1,143	3,104	10,681	5,985	16,666	12,642	7,128	19,770	1,035	6,065	2,885	9,985	29,755
2007.1	1,712	1,173	2,885	13,217	6,720	19,937	14,929	7,893	22,822	1,538	3,661	1,832	7,031	29,853
2	2,543	1,583	4,126	2,793	5,520	8,313	5,336	7,103	12,439	1,588	8,142	5,530	15,260	27,699
3	2,788	1,782	4,570	6,479	9,106	15,585	9,267	10,888	20,155	7,726	8,454	24,499	40,679	60,834
年度計	28,688	17,717	46,405	192,210	123,796	316,006	220,898	141,513	362,411	42,139	67,892	87,445	197,476	559,887
1日平均 (307日)	93	58	151	626	403	1,029	720	461	1,180	137	221	285	643	1,824

## 2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料

については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2006年度末での管理資料は51,248点、寄託資料が334点、一時保管資料が627点であった。

### 2-1 資料の収集

#### (1) 受 贈

##### ①管理資料

分 野	作 者	資 料 名	点数	
彫 刻 書	藪内 弘 島田 雨城	石駄カランコロンほか	3	
		椿四題	2	
金 工		錦雲軒稲葉七宝磁胎有線七宝唐花唐草文壺ほか	6	
歴 史		LEWIS&CLARK CENTENNIAL EXPOSITIONメダルほか	61	
陶 芸	藤平 伸	鳥の壺ほか	17	
洋 画	齋藤 真成	寂ほか	4	
人 形		御所人形ほか	5	
人 形	西村 喜代	麦ほか	14	
陶 芸	川上 力三	黒陶 門	1	
				小計 9件 113点

##### ②館資料

分 野	作 者	資 料 名	点数	
刀 剣	伯耆国倉吉住菅原(宮本)包則	昭和4年御大典記念天覧試合(柔道)恩賜刀	1	
				小計 1点

#### (2) 保管換

分 野	作 者	資 料 名	点数	受入先
版 画 書	近衛 文麿	蘭花譜	1	府スポーツ生涯学習室
		夢ほか	2	府スポーツ生涯学習室
				小計 2件 3点

#### (3) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館資料	日本画	3件 3点	古文書	23件 24点	典 籍	20件 233点	絵 図	18件 20点	複製模本	1件 1点	154件 792点
	貴重遺物	83件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点			
管理資料	日本画	6件 17点	陶 器	2件 98点	民 俗	3件 223点	武 具	1件 4点	染 織	1件 1点	14件 344点
	歴 史	1件 1点									

## 2-2 資料の利用

### (1) 貸与

#### ①館資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市立博物館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
模型	平安京羅城門模型	1	岐阜県ミュージアムひだ	新しい飛騨の匠像を求めて
				計 3件

#### ②管理資料

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画・洋画・版画	島津徹「水ぬるむ」	23	京都府府民労働部文化芸術室	庁内展示
日本画	水田硯山「鴨川」ほか	118	砺波市美術館	日本画「京の百景」展
陶芸・金工	斎田梅亭「截金交菱文飾筥」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館内のしつらえ展示として
染織	細見華岳綴織「春花」ほか	2	シルク博物館	「人間国宝細見花岳展」
陶芸・金工	斎田梅亭「截金交菱文飾筥」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館内のしつらえ展示として
日本画	「天籟画帖」	1	彦根城博物館	「彦根ゆかりの画人たち」展
版画	田島征彦「幸福な小作人」	1	高知県立美術館	「田島征彦と田島征三の半世紀展」
日本画	三輪良平「托鉢の僧」ほか	2	子供と楽しむ展覧会をつくる会	「世界の巨匠が描く人物画」展
洋画	西川純「京都民家写生スケッチ」より	13	府中市美術館・京都市美術館	「浅井忠と関西美術院展」
染織	「手拭寄裂仕立下着」ほか	14	福島県立博物館	「ハギレの日本文化誌」展
日本画	「三条西実隆像」	1	京都府立丹後郷土資料館	「細川幽斎の生涯と歌学」展
木竹	東竹園斎「花籃層文」ほか	7	那須塩原市那須野が原博物館	「竹の創造」展
日本画	堀井香坡「葵祭」ほか	3	京都市学校歴史博物館	「おもしろおすなあ京の町」展
風俗	「太鼓形虫籠」ほか	3	北九州市立小倉城庭園	「風雅の小宇宙-虫がごの世界」展
漆芸	「黒漆塗紋蒔絵茶弁当」ほか	10	城陽市教育委員会	「食の道」展
日本画	田中訥言「孔雀図」	2	名古屋特別展開催委員会	「尾張のやまと絵田中訥言」展
金工・陶芸・漆芸	小林尚珉「鉄象嵌香炉」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館内のしつらえ展示として
洋画	西川純「老人スケッチ」ほか	2	目黒区美術館	「素描する人々」展
日本画	鈴木松年「八岐の大蛇退治図」	1	赤穂市立美術工芸館田淵記念館	「鈴木百年・松年」展
風俗	江馬務コレクションガラス乾板	2,535	立命館アートルサーチセンター	デジタルアーカイヴィングと調査研究
金工・陶芸・漆芸	小林尚珉「鉄象嵌香炉」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館内のしつらえ展示として
日本画	山口素絢「雪見太夫図」ほか	3	細見美術館	「雪・月・花」展
郷土玩具	伏見人形(猪)ほか	12	京都府立図書館	「伏見人形」展
版画	田島征彦「幸福な小作人」	1	新津市美術館	「田島征彦と田島征三の半世紀」展
日本画	鈴木靖将「二七傷痍軍人」ほか	2	鈴木靖将	「三橋節子・鈴木靖将同時期」展
染織	「檜扇几帳橘文様小袖」	4	島根県立石見美術館	「美しさへの挑戦」展
彫刻	宮瀬富之「ちょっと待ってください。」	1	宮瀬富之	「宮瀬富之」展
日本画	池大雅「高士訪隠図屏風」ほか	9	フィラデルフィア美術館	「Masters of the Brush: Ike Taiga and Tokuyama Gyokuran」展
日本画・洋画・版画	佐々木豊「風景(晨)」ほか	15	京都府府民労働部文化芸術室	庁内展示
金工・陶芸	加藤宗巖「純銀白孔雀香炉」ほか	3	迎賓館京都事務所	京都迎賓館内のしつらえ展示として
日本画	上村松篁「縞白鷗」	1	松伯美術館	「熱帯花鳥へのあこがれ」展
				合計 31件 2801点

(2) その他

	撮 影		特別観覧		寄託資料一時持ち出し					
					分 野	資 料 名	点 数	申 請 者	使用目的	計
館 資 料	1件	1点	5件		考 古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研 究	1件 21点
管理資料	31件	2619点	15件	131点	民 俗	日輪鳳皇額唐子嬉遊図綴織見送ほか	11	財団法人放下鉾保存会	展 示	1件 11点
					民 俗	御唐櫃	81	四条町大船鉾保存会	展 示	1件 81点
					民 俗	緋緘小札大鎧ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭 礼	1件 4点
					日本画	富岡鉄斎「南北鴨神社図」	1	個 人	研 究	1件 1点

## 3. 展示活動

### 3-1 常設展示

#### (1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化はないので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

#### ① 特別陳列コーナー

##### ◇ 誓願寺門前図屏風

概要：誓願寺門前図は、京の三条大橋から三条寺町にある誓願寺の門前あたりの繁華な街並みを描く江戸時代初期の屏風。あわせて、江戸時代末期の四条河原の夕涼み風景を描いた絵画などを紹介した。

期間：2006年4月18日～5月14日

作品：誓願寺門前図屏風、四条河原納涼図など5点

担当：大塚活美

##### ◇ 「明治の年号」をもつ民具

概要：別館築100周年を記念する関連企画として、生活の中にも伝統的な文化と西洋風文

化の混在が著しく見られた明治時代に使用されていた民具の内、当館管理資料の中でとくに「明治」の年号の記された品を紹介した。

期間：2006年5月16日～7月17日

作品：龍吐水、燭台、茶摘籠など16点

担当：大塚活美

##### ◇ 京都考古学シリーズ9「平安京の瓦が語るもの」

概要：平安京跡の発掘調査で出土した平安時代の種々の瓦類を展示し、古代宮都の遷都の状況、宮殿建築の色彩、遠隔生産地と平安京の関係など、考古資料としての瓦類から明らかにできる京都の歴史の一端を紹介した。

期間：2006年7月19日～11月19日

作品：平安宮跡出土の瓦類、計80点

担当：植山 茂

##### ◇ 「源氏物語若菜の巻」

概要：11月1日になされた、2008年を「源氏物語千年紀」として様々な事業により『源氏物語』を改めて顕彰したいという文化人による呼びかけに因んで、重要文化財『大島本源氏物語』の一部を紹介した。『源氏物語』「若菜」の巻を中心に、女三宮と柏木の出会いを描いた絵画や、女楽の場面で奏される楽器を展示した。

期間：2006年11月21日～12月17日

作品：『大島本源氏物語』3冊（「若菜」上下・「柏木」）、和琴、七弦琴など、計6点

担当：植山 茂

##### ◇ 「文明開化に花開いた京焼洋食器」

概要：特別展「近世 都の工芸 一京の美意識と匠の世界」の関連展示として、近代初期に京都の陶工たちがつくった洋食器を紹介した。京都府所蔵の本資料は、明治12年のアメリカ前大統領グラント一行を迎える準備として京都府が発注したもので、新時代への対応を試みる京都の陶工たちの息吹が伝わる。



期 間：2006年12月19日～2007年4月15日  
 作 品：幹山伝七、三代清水六兵衛、三代清風与平、  
 四代高橋道八、和氣亀亭による洋食器約

50点

担 当：洲鎌佐智子

②展示替え（概観展示・集中展示）

展示テーマ	展示項目	資 料 名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器一式（出土品）	8	2003. 6. 17～
京洛四季	京の商い	煙草入屋看板・生掛屋看板・売薬手提箱五合罎・一升罎・糸秤（*）	6	2005.10. 18～2006. 4. 16
		看板・暖簾・算盤箱・一斗罎・天秤（*）	5	2006. 4. 18～2006.10. 15
		看板（2点）・売薬手提箱・五合罎・一升罎・糸秤（*）	6	2006.10. 17～2007. 4. 15
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様ソース鉢（和氣亀亭作）／染付草花模様小水差・染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様砂糖入・染付草花模様蓋付水鉢（以上、幹山伝七作）染付草花模様紅茶碗（三代清風与平作）（*）	7	2006. 4. 18～2006. 7. 17
		染付草花模様水差／染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）／染付草花模様紅茶碗／染付草花模様蓋付比良鉢（以上、三代清風与平作）／染付葡萄酒呑（和氣亀亭作）／染付草花模様皿（四代高橋道八作）（*）	13	2006. 7. 19～2006.10. 15
		染付草花模様ソース鉢（和氣亀亭作）染付草花模様小水差・染付草花模様付肉皿・染付草花模様小判形皿・染付草花模様砂糖入・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢（以上、幹山伝七作）（*）	9	2006.10. 17～2006.12. 16
		松絵金彩水差・松絵金彩大鉢（幹山伝七作）色絵母子図三足香炉（7代錦光山宗兵衛作）色絵金彩唐人三足香炉（9代帯山與兵衛作）（*）	4	2006.12. 18～2007. 4. 15
集中展示	宗家の地	香道一香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」（*）	5	2006. 3. 21～2006. 6. 18
		和歌の家一冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角壺（**/*）	3	2006. 6. 20～2006. 9. 18
		琵琶の家一琵琶・源氏物語絵巻（複製）（**/*）	3	2006. 9. 20～2006.12. 17
		蹴鞠の家一蹴鞠他・関係写本（*/**）	6	2006.12. 19～2007. 3. 18
		香道一香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」（*）	5	2007. 3. 20～2007. 6. 17
	能と狂言	桐鳳凰図唐団扇・花丸図唐団扇・紺地花橘文鬘帯・柳二松竹梅文鬘帯・鱗文腰帯（協力：金剛家）	5	2006. 3. 21～2006. 6. 18
		狂言面一福の神・武悪・白蔵主（協力：茂山家）	3	2006. 6. 20～2006. 9. 18
		鉄仙色無葛扇・納戸地秋草文鬘帯・朱地糸巻文鬘帯・紺地輪宝文腰帯・白地花兔文腰帯（協力：金剛家）	5	2006. 9. 20～2006.12. 17
		狂言面一乙・猿・白蔵主（協力：茂山家）	3	2006.12. 19～2007. 3. 18
		鞆鼓・納戸地花橘文鬘帯・紅地蓼文鬘帯・胴箔地紫陽花文腰帯・鱗文腰帯（協力：金剛家）	5	2007. 3. 20～2007. 6. 17
匠の世界	染めのまち本能（協力：本能まちづくり委員会）	一式	2006. 5. 16～2006. 9. 18	
	彩色（協力：川面美術研究所、文友会）	一式	2006. 9. 20～2006.12. 17	
	文化財を護る（協力：大同、文友会）	一式	2006.12. 19～2007. 3. 31	
京のまつり	祇園祭月鉾模型、扇（*）	2	2006. 3. 21～2006. 6. 18	
	祇園祭長刀鉾模型（**）	1	2006. 6. 20～2006. 9. 18	
	牛祭 牛祭面（*/**）	10	2006. 9. 20～2006.12.17	
	祇園祭月鉾模型（**）	1	2006.12. 19～2007. 3. 18	
	祇園祭月鉾模型、扇（*）	2	2007. 3. 18～2007. 6. 17	

（ ）内の\*印の資料は京都府立総合資料館蔵（京都府京都文化博物館管理）、\*\*印の資料は当館蔵

## (2) 美術・工芸展示

### ◇京都の美術・工芸展 京都府所蔵品から

—日本へのまなざし・西洋へのまなざし—

概要：日本の洋画の深まりに寄与した画家の作品

紹介。

と、海外の芸術を視野におさめつつ制作さ

期間：2006年4月4日(火)～5月28日(日)

れた日本画家の作品を、京都府所蔵品から

作品：日本画と洋画 57点

#### 第1室

作品名	作家名	制作年	作品名	作家名	制作年
風と砂の道	向井 潤 吉	昭和 38 年	春雪のあと	向井 潤 吉	昭和 44 年
またぎの家	〃	〃	八ヶ岳快晴	〃	〃
残雪の村	〃	〃	下山雪後	〃	〃
奥多摩春景	〃	〃	山河春雪	〃	〃
中仙道番場宿	〃	昭和 39 年	西ノ京池畔	〃	〃
草土の家	〃	昭和 41 年	筑後柳川の春	〃	〃
芽ぶく山郷	〃	〃	知覧の裏小路	〃	〃
段丘と湖	〃	昭和 42 年	洛北暮雪	〃	昭和 45 年
岩倉残秋	〃	〃	氷雨の大内宿	〃	昭和 46 年
簸川平野の家	〃	〃	白毫寺の辻	〃	〃
根来寺界限	〃	昭和 43 年	丹波路好秋	〃	昭和 48 年

#### 第2室

作品名	作家名	制作年	作品名	作家名	制作年
朝霧	川端 弥之助	昭和 41 年	人	三雲 祥之助	昭和 40 年
雪後	黒田 重太郎	大正 14 年	画家像	山田 新 一	昭和 22 年
ターバンの女	霜鳥 之 彦	大正 12 年	リスボンのジュディット	〃	昭和 43 年
午後のお茶	〃	昭和 4 年	シガレットを持つマリーズ	〃	〃
ばら	〃	昭和40年代	青いジュボン	〃	昭和 60 年
二人の女	三雲 祥之助	昭和 36 年	藪	和田 三 造	昭和 40 年

#### 第3室

作品名	作家名	制作年	作品名	作家名	制作年
堤	池田 遙 邨	昭和 44 年	はざまの路	小野 竹 喬	昭和 8 年
山の灯	〃	昭和 50 年	神島風景	金島 桂 華	大正 7 年
江朝春色図	今尾 景 年	明治 43 年	翠溪飛蛉	菊池 芳 文	明治～大正時代
秋野群鶉図	〃	大正元年	時の秘鍵	堂本 印 象	昭和 40 年
鶏冠花図	大村 廣 陽	昭和 30 年	秋屋葉聲中	〃	昭和 30 年頃
白鷺	岡村 宇太郎	昭和 9 年	蘭亭流觴	富田 溪 仙	大正～昭和時代
赤松並木	〃	昭和 45 年	白鷺	山口 華 楊	昭和 36 年

#### 第4室

作品名	作家名	制作年	作品名	作家名	制作年
天狗と鳥刺し	浅井 忠	明治時代	久米仙人	鈴木 松 年	明治時代
異人洋犬	今尾 景 年	明治～大正時代	紫宸殿賢聖之障子縮写	竹内 栖 鳳	明治 17 年
寒鴉白鷺図	河鍋 暁 斎	明治時代	宇治茶摘	富田 溪 仙	大正 3 年
鬼に金棒	鹿子木 孟郎	大正～昭和時代	社	不染 鉄	昭和時代
大学生	〃	〃			

◇京都の美術・工芸展 センス・オブ・ウーマン

概要：京都府所蔵品から、女性作家による作品を  
展示。

作品：日本画・洋画・版画・彫刻・染織・陶芸・  
漆芸・截金・人形60点

期間：2006年7月5日(水)～10月9日(月・祝)

分野	作品名	作家名	制作年	分野	作品名	作家名	制作年
日本画	初冬	秋野 不矩	昭和56年	染織	つぼみA・つぼみB	渋谷 和子	平成11年
日本画	土の影	池田知嘉子	昭和52年	染織	月輪	志村ふくみ	昭和58年
日本画	藤の頃	伊藤はるみ	昭和56年	染織	貌	高木 敏子	昭和51年
日本画	早春	猪熊 佳子	平成5年	染織	豊穰	徳岡 絹栄	昭和53年
日本画	cotton candy	岩崎 絵里	平成12年	染織	月下東風	中川 善子	昭和55年
日本画	鴨川の夕涼み	梶原緋佐子	昭和48年	染織	潮騒	福本 潮子	昭和53年
日本画	クスコ之女	岸本 裕子	昭和52年	染織	沫雪流る	福本 潮子	昭和57年
日本画	二面像	北沢 映月	昭和26年	染織	陰陽師	藤野 靖子	平成5年
日本画	更紗を	来野あぢさ	昭和56年	染織	緋の時	吉水 絹代	平成7年
日本画	ポーズ	来野あぢさ	昭和58年	陶芸	陶文〈JE TE VEUX〉	北村 純子	昭和60年
日本画	青麦	重岡 良子	昭和52年	陶芸	陶文〈秋庭歌を聞いて〉	北村 純子	昭和60年
日本画	卓上	丹羽 尚子	昭和44年	陶芸	饒舌な女	坪井明日香	平成14年
日本画	大原(大原女)	田代 正子	昭和48年	陶芸	包弁Ⅱ	藤野さち子	平成8年
日本画	おしろい	広田 多津	昭和2年	陶芸	したれさくら	村井 紀炎	平成3年
日本画	やがて夏へ	松生 歩	昭和56年	陶芸	盃百花	村井 紀炎	平成3年
日本画	それから	松本 文子	昭和48年	漆芸	花の筥	伊藤 邦	昭和56年
日本画	おとめたち	三谷十糸子	昭和6年	漆芸	乾漆 Bright Ocean	山田 豊子	平成8年
日本画	とわの土	三橋 節子	昭和45年	截金	萬家放輝	江里佐代子	昭和56年
日本画	湖の伝説	三橋 節子	昭和48年	人形	秋明	足利 典子	平成8年
日本画	余呉の天女	三橋 節子	昭和50年	人形	青い木の実	大林 蘇乃	昭和35年
日本画	鏡	皆川智恵子	昭和36年	人形	青衣少女	大林 蘇乃	昭和38年
日本画	地蔵盆	皆川智恵子	昭和48年	人形	閑取	黒川 和江	昭和49年
洋画	untitled	伊庭 靖子	平成12年	人形	立児	中田 世津	昭和50年
洋画	A Blue Landscape	児玉 靖枝	平成3年	人形	夜明け	西井千津子	昭和51年
洋画	葉桜の頃	松村 綾子	昭和14年	人形	土の鈴	西村 喜代	昭和46年
版画	TOM.TOMATO KNIFE	山本 容子	昭和51年	人形	陽光	西村 喜代	平成2年
版画	ASPARAGUS GUY	山本 容子	昭和52年	人形	学校がえり	羽山 敬子	昭和46年
版画	アスパラガスバラダイス	山本 容子	昭和52年	人形	伊須気余理比賣	平中 歳子	昭和43年
彫刻	作品	河田 博子	昭和45年	人形	雷	平中 歳子	昭和43年
彫刻	SPACE SLIPS, DUPLICATED	中村 公子	昭和58年	人形	浮世の又平	福島 秀子	昭和60年
染織	星座	朝倉美津子	昭和52年	人形	風神・雷神	前田美代子	昭和47年
染織	紅いはな-源氏物語・末摘花の帖-	兼先 恵子	平成2年				

「京の百景」は京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)、「京の四季」、「京の絵本」は京都府蔵。

◇京都の美術・工芸展

吉川コレクションの人形と衣裳展

概要：画家・風俗研究家として活躍した吉川観方  
が蒐集したコレクションから人形と衣裳の  
優品を展示。

期間：2007年1月27日(土)～3月28日(水)

作品：人形・染織94点

■雛人形

名称	制作年代	備考(吉川の呼称等)	名称	制作年代	備考(吉川の呼称等)
天児	江戸時代後期		元禄雛	江戸時代中期	町雛
這子	江戸時代中期	婢子	元禄雛	江戸時代中期	町雛
立雛	江戸時代後期	紙雛	次郎左衛門雛	江戸時代中期	
立雛	江戸時代後期	紙雛	有職雛(小直衣)	江戸時代後期	
立雛	江戸時代後期	紙雛	有職雛(直衣)	江戸時代後期	
立雛	江戸時代後期	紙雛	有職雛(直衣)	江戸時代後期	

有職雛（衣冠）	江戸時代後期		古今雛	江戸時代後期	町雛
有職雛（衣冠）	江戸時代後期		古今雛	江戸時代後期	町雛
有職雛（狩衣）	江戸時代後期		古今雛	江戸時代後期	町雛
古今雛	江戸時代後期	親王雛	古今雛	江戸時代後期	町雛

■雛段をかざる人形 ■ちいさな雛人形

名 称	制作年代	備考(吉川の呼称等)	名 称	制作年代	備考(吉川の呼称等)
三人官女	江戸時代後期		一文雛	江戸時代後期	
五人囃子（能楽）	江戸時代中期		雛屏風	明治時代	六曲一隻
五人囃子（雅楽）	江戸時代後期		雛屏風	明治時代	二曲一隻
隨身	江戸時代後期		おくどさん	明治時代	
芥子雛	江戸時代後期				

■人形あれこれ

名 称	制作年代	名 称	制作年代
御所人形 犬	江戸時代後期	衣裳人形 化粧女	江戸時代後期
御所人形 びんぶく	江戸時代後期	衣裳人形 上方婦人	明治時代
御所人形 おふく	江戸時代後期	衣裳人形 町家主人	明治時代
御所人形 花車曳き	江戸時代後期	衣裳人形 娘立姿	明治時代
御所人形 鯛持ち	明治時代	衣裳人形 娘座姿	明治時代
御所人形 童子	明治時代	衣裳人形 幕末婦人	明治時代
御所人形 童子	明治時代	衣裳人形 散切頭男	明治時代
賀茂人形 鯛曳き	江戸時代後期	衣裳人形 子守女	明治時代
賀茂人形 公家	江戸時代後期	衣裳人形 狎曳き	明治時代
賀茂人形 童子	江戸時代後期	竹田人形 男立	江戸時代後期
賀茂人形 童子	江戸時代後期	竹田人形 瓢箪持ち	江戸時代後期
賀茂人形 大黒	江戸時代後期	竹田人形 女立	江戸時代後期
賀茂人形 唐子	江戸時代後期	竹田人形 女立	江戸時代後期
賀茂人形 万歳	江戸時代後期	三折人形	寛政年間
賀茂人形 福祿寿	江戸時代後期	三折人形	江戸時代後期
賀茂人形 男	江戸時代後期	三折人形	明治時代
賀茂人形 這子	江戸時代後期	三折人形	明治時代
賀茂人形 武家夫婦	江戸時代後期	三折人形	明治時代
賀茂人形 童子	江戸時代後期	三折人形	明治時代
賀茂人形 公家	江戸時代後期	三折人形	明治時代
賀茂人形 翁	江戸時代後期	三折人形	明治時代
衣裳人形 鶏合せ	江戸時代後期	三折人形	明治時代
衣裳人形 胡蝶の舞	江戸時代後期		

■晴れの装い ■子どもの衣裳

名 称	制作年代	名 称	制作年代
縹縮緬地梅菊御簾貝桶文様振袖	江戸時代中期	◇納戸平絹地水辺鷺桜文様振袖	江戸時代後期
鼠平絹地掛盆栽文様振袖	江戸時代後期	◆縹平絹地四季花鳥文様小袖	江戸時代後期
鼠平絹地薬玉扇子文様振袖	江戸時代後期	◇鼠羽二重地通天橋文様振袖	江戸末期～明治時代
縹平絹地馬に馬具文様振袖	江戸時代後期	◆鼠羽二重地盆栽盛花文様振袖	江戸末期～明治時代
浅葱縮緬地馬文様振袖	江戸時代後期	◇薄紫綸子地花鳥流水文様振袖	明治時代
白縮緬地梅に鶴文様振袖	明治時代	◆鼠木綿地雪持笹竹文様小袖	明治時代
鼠木綿地子ども雪だるま文様振袖	明治時代	◇鼠紹地萩流水文様振袖	明治時代
縹縮緬地公家遊山文様振袖	明治時代	◆鼠縮緬地柵に松楓文様小袖	明治時代
◇納戸羽二重地網干に松文様小袖	江戸時代後期	◇茶羽二重地几帳に桜楓文様打掛	明治時代
◆鼠縮緬地春景文様小袖	江戸時代後期	◆紫縮緬地源氏物語文様打掛	明治時代

◆印は 1/27 ~ 2/25 間展示 ◇印は 2/27 ~ 3/28 間展示

◇京都の美術・工芸展

近代の屏風絵 寄託の優品を中心に

概要：京都府立総合資料館および当館の寄託品を中心に近代の屏風絵を展示。

期間：2007年1月27日(土)～3月28日(水)  
作品：日本画4点

分野	作品名	作者名	制作年	分野	作品名	作者名	制作年
日本画	京都新名所四季図	森 寛斎	明治 6 年	日本画	弥陀来迎図 **	木村武山	大正 8 年
日本画	南園の一隅に於ける曲と眠り *	榊原紫峰	明治 45 年	日本画	貝尽くし図	今尾景年	大正時代

\*は個人蔵（京都府立総合資料館寄託） \*\*は光明寺蔵（京都文化博物館寄託）

◇京都の美術・工芸展

池大雅 重文・柳下童子図の魅力

概要：京都府蔵池大雅美術館コレクションから、重要文化財「柳下童子図屏風」を中心に展示。

期間：2007年1月27日(土)～3月28日(水)  
作品：日本画11点

分野	作品名	作者名	制作年	分野	作品名	作者名	制作年
日本画	柳下童子図	池 大雅	江戸時代後期	日本画	老松鶴図	池 大雅	江戸時代後期
日本画	風蕙図	池 大雅	江戸時代後期	日本画	金鶏落照図	池 大雅	江戸時代後期
日本画	墨菊図	池 大雅	江戸時代後期	日本画	一富士二鷹三茄子図	池 大雅	江戸時代後期
日本画	三酸図 *	池 大雅	江戸時代後期	日本画	芝草之詩	池 大雅	江戸時代後期
日本画	寿老人図	池 大雅	江戸時代後期	日本画	蘭亭之詩	池 大雅	江戸時代後期
日本画	寒山拾得図	池 大雅	江戸時代後期	日本画	桜（和歌）	池 大雅	江戸時代後期
日本画	立雛図 *	池 大雅	江戸時代後期				

\*は池大雅美術館蔵、その他は京都府蔵池大雅美術館コレクション

(3) その他の館内展示物

① 1 階

a. 本館

- ・「紫式部像」（1階エレベーターホール前）
- ・清水九兵衛「朱装」（1階正面玄関横：屋外）
- ・はぎとり土層（地下図書閲覧室への階段壁面）

b. 別館

- ・礎石（中庭通路脇）

- ・礎盤（中庭通路脇）

② 2 階

- ・梅原龍三郎「富士山の図」

③ 7 階

- ・大甕

\*詳細については『京都文化博物館 10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。

## 3-2 特別展示

### (1) 自主企画展

#### ◇始皇帝と彩色兵馬俑展 ～司馬遷『史記』の世界～

会 期：2006年10月19日～12月3日（40日間）

休館日：毎週月曜日

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1,300円 大高生800円

中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、毎日放送、TBS、中国陝西省文物局、中国陝西省文物交流中心

後 援：外務省、中国大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都華僑総会、大阪華僑総会、神戸華僑総会

出展協力：秦始皇兵馬俑博物館、陝西歴史博物館、陝西省考古研究所、漢陽陵考古陳列館、西安市文物保護考古所、咸陽博物館、咸陽市考古研究所、茂陵博物館

協 力：凸版印刷、日本航空

担当者：南博史

概 要：本展は、2004年に10周年を迎えた京都文化博物館と陝西歴史博物館の友好交流を記念する事業である。もともと博物館の単独事業としてスタートしたが、途中からTBSおよび博報堂の協同企画に参加する形となった。

中国・前漢の司馬遷（前145～前87?）が著した『史記』。とくに春秋・戦国時代から漢武帝までの約700年間に焦点をあて、最初に中国を統一した秦始皇帝から項羽・劉邦、そして漢・高祖から武帝までの時代の最新の考古資料を中心に、中国古代文化をわかりやすく多角的に展示した。また私たち日本人にとって、文学、美術、映画などさまざまな分野で愛されてきた『史記』を切り口にした展覧会は初の試みである。

とくに、中国国外でははじめての展示となった彩色が見事に残る跪射俑や始皇帝陵周辺から発掘された力士俑や屈伸俑、トルコ石で飾られた金柄鉄剣、玉製品は注目を浴びた。さらに、これも日本初公開となっ

た陽陵の副葬坑から出土した男女の俑や動物俑、金製品など前漢を代表する作品が展示できた。後漢の壁画も日本初公開である。

また、兵馬俑坑の全容をVR映像で再現できたことも、展覧会を多角的に構成するうえで大変有意義だった。

なお、この展覧会でも「五感で楽しむ古代中国」をテーマに、記念講演会や音楽会、中国映画の上映、さらには変身コーナーや兵馬俑色つけ製作や竹簡づくりなどの教育普及プログラムを展開し、子どもも含め多くの方々楽しんでいただいた。

最後に、この展覧会にはほぼ1年をかけて全国5カ所を巡回している。2007年7月には陝西省へ作品返却することになっている。この展覧会を契機として陝西歴史博物館との友好交流事業を活発にしていきたい。

展覧会の構成と主な作品：

日本側出品作品4件9点 中国側出品作品120件組196点（世界・日本初出品14点）  
（序）史記

『史記秦本義』残巻、平安時代（慶応義塾大学斯道文庫蔵）

1) 春秋・戦国時代

金柄鉄剣（宝鶏市考古工作所）＜日本初出品＞、金虎符（西安市文物保護考古所）

2) 秦・始皇帝の時代

兵馬俑坑出土：跪射俑（兵馬俑博物館）＜世界初公開＞、將軍俑、始皇帝陵出土：青銅鶴、青銅白鳥、青銅雁、力士俑、文官俑、石兜・鎧

3) 漢・高祖・呂後の時代

長陵陪葬墓出土彩色俑（咸陽博物館）「皇后之璽」（陝西歴史博物館）、女性裸体俑（漢陽陵考古陳列館）

4) 漢・文帝・恵帝の時代

彩繪銅雁魚燈（陝西歴史博物館）、陽陵出土彩繪男女俑、彩色騎兵俑＜日本初出品＞、動物俑（鶏、羊、豚、犬）（漢陽陵考古陳列館）

5) 漢・武帝の時代

鍍金銀竹節銅熏爐（茂陵博物館）、馬蹄金（西安市文物保護考古所）、金印（西安市文

物保護考古所)、壁画(後漢 陝西省考古研究所) <世界初公開>

大型スクリーンによる映像展示:

2200年前の彩色兵馬俑がよみがえる『VR(パーチャル・リアリティ)シアター』(TBS/凸版印刷製作)

入場者: 70,969人(内、有料入場者数45,420人 有料入場率64%) 1日平均1,774人

講演会: 学んでみませんか『記念講演会』

10/19(木)「始皇帝陵の最新発掘成果」趙 昆(秦始皇兵馬俑博物館保管部主任)

10/22(日)「始皇帝と彩色兵馬俑展の見どころ」南博史(京都文化博物館主任学芸員)

11/ 5(日)「秦漢帝国の遺産」鶴間和幸(本展監修者: 学習院大学教授)

会 場: 3階映像ホール

参加人数: 100人(10/19)、78人(10/22)、88人(11/5)

特別講演会:

10月16日(木) 18時30分~20時

吳 永琪(秦始皇兵馬俑博物館館長)

会 場: 別館ホール

参加人数: 約130人

映画上映: 感動しませんか!『中国映画の特集』

中国映画を4日間(11/16~11/19)にわたって特別公開

11/16・11/18「テラコッタ・ウォリア/ 秦俑」

11/17・11/19「HERO」

会 場: 3階映像ホール

時 間: 各日13時半~、17時~、2回上映。

参加者: 各100名。

音楽会: 秋の夜を満喫しませんか!『古箏の演奏会』

蔡愛琴(ツァイアイチン)中国古箏演奏者による演奏会(有料)

日 時: 11/22(水) 18時半~19時半

会 場: 別館ホール

参加者: 80名

参加体験プログラム:

○遊んでみませんか!

五感で楽しむ古代中国コーナー

展示会を五感で楽しむための活動ルー

ムを設けて会期中継続的に普及活動を実施。

『陽陵』出土品の裸俑に装着されていた衣装の「推定復元品」や「彩色兵馬俑の顔料復元」、「頭部再現模型」、御池中学校美術部の生徒さんたちによる「ミニ彩色兵馬俑作品」の展示、「変身コーナー」、「竹筒づくり」、「兵馬俑色つけ体験」などの参加体験プログラムを通して古代中国を感じてもらった。

会 場: 4階特別展示室内の体験ルーム

○変身コーナー

2000年前の古代中国の皇帝や宮廷女性がイメージできるような衣装、展示されている「石鎧」の写真をもとにした、子供用の鎧(紙製)を製作。気軽に変身して当時の雰囲気味わってもらった。

参加者: 自由参加(無料)

その他: 体験ルーム内での記念撮影OK。希望の方にポラロイド写真を撮影(100円)。

○竹筒づくり

『史記』は、竹を薄く削った細板を紐で綴った「竹筒」に書かれた。自分で「竹筒」を作って字を書いてみる体験活動。

参加者: 小・中学生対象

参加費: 200円

活動内容: 竹筒5本を紐でつないで文字を書く。できあがった竹筒はお土産に。

○兵馬俑色つけ体験

ミニチュアのmy彩色兵馬俑を作る。

参加者: 小・中学生対象(一部、一般も参加)

参加費: 1200円(持ち帰り用の箱つき。できあがったmy兵馬俑をお土産に)

活動内容: 兵馬俑の石膏型に石膏を流し込んでmy兵馬俑を製作(高さ約19cm)。絵の具で自由に彩色。

実施方法: 1日2回活動。1回目午前11時から、2回目午後2時から。

## ◇近世 都の工芸 一京の美意識と匠の世界一

会 期：2007年2月24日～3月31日（31日間）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

入場料：一般1,000円 大高生700円

中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・NHK京都放送局

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都、

担当者：洲鎌佐智子

概 要：千年にわたって皇都として栄えた京都では、政治だけでなく、産業や文化の面においても日本の中心として素晴らしい発展を遂げた。なかでも工芸は、公家や社寺の文化を基調にして、能や茶・華道などの諸芸能とも複雑に関係しながら育まれ、各時代を象徴するようなものが数多くうみだされてきた。本展では、桃山から江戸時代後期までを四つに分け、それぞれの時流の軸となる美意識をもった都でつくられた陶磁器、染織品、漆器などの工芸品を中心に展示したものである。本阿弥光悦や野々村仁清などの有名な作り手の作品とともに、その背景にある長年培われてきた高度な技術をもった職人や、都ならではの洗練された美意識、多様な文化にも触れながら構成したものである。

展覧会の構成と主な作品：

プロローグ 京・職人と商人の町 一描かれた職人一

職人尽くし絵や洛中洛外図から当時の生き生きとした職人像を窺う。

・狩野孝信「洛中洛外図屏風」（福岡市博物館）ほか

### 第1章 桃山の革新

高台寺蒔絵や南蛮漆器など桃山時代に花開いた華麗な工芸品の数々を紹介。

・「草花文様四つ替小袖」（京都国立博物館）、桐鳳凰紋蒔絵唐櫃（豊国神社）ほか

### 第2章 古典の復興と雅の意匠

古典に基づく王朝文化の復興の気風が漂った江戸時代前期の風雅な工芸品を紹介。

・野々村仁清「色絵釘隠」（京都国立博物館）、「桂離宮花手桶形引手」（宮内庁京都事務所）ほか。

コラム 諸芸と工芸

能や花、茶道、香道などの諸芸との関わりの中で育まれてきた近世の工芸品を紹介。

・「竹節文遊環耳付立花瓶」（華道池坊総務所）ほか

### 第3章 琳派の成立とその展開

尾形光琳・乾山をはじめ、華やかで新しい感覚の意匠が出そろった江戸時代中期の工芸品を紹介。

・尾形光琳「流水図乱箱」、尾形乾山「錆絵寒山図角皿」ほか

### 第4章 復古と創造

明末、清初の復古文人趣味をはじめとするさまざまな復古や、あらたな創造が見られた江戸時代後期の工芸品を紹介。

・奥田穎川「赤絵十二支四神鏡文皿」ほか

### エピローグ 都の工芸と評判

国内外の人々が、都の職人の様子について記した史料等から、都の工芸の様子や評



「都の工芸展」会場風景



「都の工芸展」ワークショップ(蒔絵のお盆を作ろう!)風景



判を紹介。

・『女御所御用書』、『京雀』（京都府立総合資料館）ほか

入場者：17,535人（内、有料入場者数 7,573人  
有料入場率43%）1日平均566人

講演会：

2月24日（土）14時～15時30分 聴講  
43名

岡 佳子 大手前大学助教授

「京のやきもの—江戸時代後期の  
名工を中心に—」

3月24日（土）10時30分～12時 聴講  
21名

洲鎌佐智子 当館学芸員

「近世都の工芸展への誘い」

体験講座：

3月17日（土）、18日（日）

両日とも 1回目10時30分～11時30分  
2回目14時～15時

「時絵のお盆を作ろう！」（京都漆器協同組  
合員による）

参加者：計110名

## （2）別館築100周年記念事業

### ▽祇園祭懸装品展 ～風流の美～

会 期：2006年6月3日～7月2日

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

会 場：別館ホール 3F 常設展示場

入場料：別館ホール（無料） 3F 常設展示場（常設  
展示料金）

主 催：京都府、京都文化博物館、（財）祇園祭山鉾  
連合会

特別協力：株式会社川島織物セルコン、株式会社龍  
村美術織物

担当者：藤本恵子

概 要：日本を代表する祭りの一つとして多くの  
人々に知られている祇園祭は、平安期の祇  
園御霊絵による疫神送りの祭礼として創始  
され、時代の変遷にしたがってその様式を  
変化させながら現在に至っています。山鉾  
の形態は15世紀頃にほぼ出そろい、趣向  
を凝らしながら町衆の尽力によって発展し  
てきました。昭和40年（1965）までは、  
7月24日の「あと祭」で、京都文化博物館  
の別館、旧日本銀行京都支店が面している  
三条通を9基の山が巡行していました。明  
治を代表する洋風建築として命じ39年  
（1906）に竣工した日本銀行京都支店と、  
祇園祭の豪華な懸装品がひとつの景観のな  
かで見られたというのは、京都の歴史の奥  
深さでもあります。

京都府では、京都市とともに貴重な懸装  
品の数々を修復・新調する事業の支援を現  
在も継続して行っております。本店は、こ  
のように長年にわたり京都府とつながりの  
ある（財）祇園山鉾連合会ご協力により、

京都文化博物館別館築100周年を記念し、  
「祇園祭懸装品展」として開催するもの  
です。あと祭に登場する9基の山の豪華な懸  
装品の数々を、祇園祭の本番を前に特別に  
展覽いたします。

展示会の構成と主な作品：

[別館ホール]

・鯉山 山飾り一式

・北観音山 二番水引「紅地牡丹梅笹唐草  
文様」綴織「金地紅白牡丹文様」唐織

・南観音山 見送「龍王渡海図」綴織（加  
山又造原画）

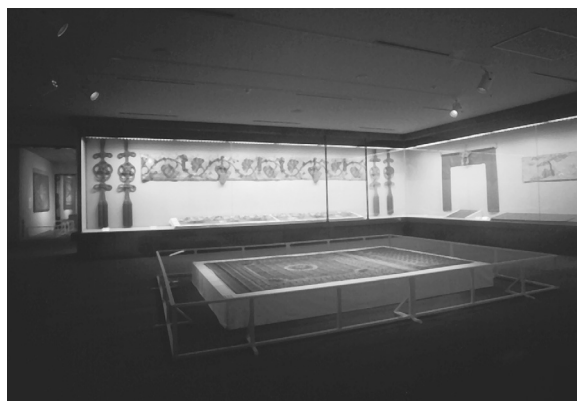
・南観音山 下水引「飛天奏楽図」（加山  
又造原画）

・連合会所管 見送「VILA TIVOLI」（皆  
川泰蔵作）

[3階常設展示場]

・北観音山 見送「日輪鳳凰額唐子喜遊図」  
綴織（飾金具房付）他6件

・南観音山 前懸「メダリオン中東文様」



別館築100周年記念展会場風景  
（3F：懸装品陳列風景）

- 絨毯 他3件
- ・橋弁慶山 前懸「椿石靈鳥図」綴織
  - ・黒主山 見送「玉取獅子額鳳凰牡丹図」綴錦（飾金具房付）他4件
  - ・浄妙山 見送「翔」熊鷹図染彩（皆川月華作）他1件
  - ・役行者山 前懸「牡丹に胡蝶左右雲龍文様」綴錦 他4件
  - ・鈴鹿山 後懸「群禽譜」染繡（皆川月華作）他3件
  - ・八幡山 前懸「慶寿詩左右瑞鳥洋樹図」綴織 他5件
  - ・鷹山 見送「猛禽の図」（皆川月華作）染彩
- 総数：約50点

関連行事：

- 〔祇園囃子の実演〕別館ホール：
- 6月3日（土） 14：00～16：00の間に数回（大船鉦）
- 6月4日（日） 14：00～16：00の間に数回（北観音山）
- 6月17日（土）14：00～16：00の間に数回（南観音山）



別館築100周年記念展会場風景  
（別館：懸装品を背に北観音山祇園囃子の演奏）

▽貨幣の歴史と近代京都の100年展

- 会期：2006年6月3日～7月2日
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）
- 会場：3F 常設展示場 東側
- 入場料：3F 常設展示場（常設展示料金）
- 主催：京都府、京都文化博物館
- 後援：京都市、京都新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、NHK京都放送局、KBS京都

特別協力：日本銀行京都支店

担当者：鈴木忠司

概要：旧日本銀行京都支店（重要文化財）を中心とする三条通界隈は、かつて京都のウォールストリートと呼ばれ、三条通のみならず京都の顔として、長く市民に親しまれてきました。現在では京都文化博物館・別館として衣替えをし、京都の近代を象徴する歴史的なモニュメントとして界隈のランドマークとなっています。この6月竣工100周年を迎えるにあたり、日本銀行京都支店がこれまでに担ってきた役割にちなみ、「貨幣の歴史と近代京都の100年展」を開催した。

飛鳥時代、唐の制度をまねて日本に貨幣制度が導入されて初めて鑄造された「富本銭」、奈良から平安時代にかけて発行された「皇朝銭」、戦国時代まで東アジア世界の基本通貨として広く普及した「渡来銭（中国銭）」、我が国独自の通貨体制が確立され、貨幣経済が日本の隅々までいきわたり、武士階級から庶民まで日々の暮らしに浸透した江戸時代の三貨（金・銀・銅）、そして欧米諸国の通貨制度の導入による近代貨幣までの変遷をたどった。

展示会の構成と主な作品：

I 貨幣の歴史

近年、奈良県飛鳥池遺跡で発掘され日本最初の貨幣として大きな話題となった富本銭とその鑄型から、皇朝銭、国際通貨として日本を含め東アジア諸国に広く流通した宋・明銭、江戸幕府誕生後の安定した国内情勢を背景にして誕生した独自通貨として



別館築100周年記念展会場風景  
（別館：貨幣展会場風景）



別館築100周年記念展会場風景  
(別館：貨幣展大判展示風景)

の大判、小判、寛永通宝などの一文銭、明治維新後、近代通貨制度のもとで発行された紙幣・硬貨などを展示し、日本の貨幣史を概観した。

- ・富本銭・皇朝十二銭・開元通宝などの中国銭・慶長小判/豆板銀・享保/天正大判・藩札・京都府札・太政官札・明治から今日までの主だった紙幣（日本銀行）等

総数：約200件

## Ⅱ 年表と写真でたどる日銀京都支店と三条通の100年

明治23年東洞院通御池上ルに開設された「日本銀行京都営業所」から、明治39年三条通に新築移転後の「京都支店」時代を挟んで、現在の河原町に再移転するまでの日銀京都支店の歩んだみちのりと、京都のウォールストリートとよばれた時代から、旅館、和装問屋の街、そして現在の若者でにぎわう街までの三条通の変遷を、年表、風景写真、新聞記事でたどります。

- ・三条新営業所開所「日の出新聞」明治39年7月1日紙面
- ・建設中の日銀京都支店前を通る山鉾
- ・竣工時の日銀京都支店外観/内部各所
- ・昭和の日銀京都支店前を巡行する山鉾
- ・昭和初期の三条通等 23点

## ▽近代建築写真展

会期：2006年6月3日～7月2日  
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）  
会場：別館 2F 講義室  
入場料：無料  
主催：京都府、京都文化博物館

後援：京都市、京都新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、NHK京都放送局、KBS京都

特別協力：(社)京都府建築士会

担当者：土橋 誠

概要：京都の町は、1864（元治元）年の禁門の変（蛤御門の変）による兵火によってほぼ3分の2が壊滅しました。その後、徐々に復興していきましたが、現在でも祇園祭の山や鉾が復興していないものがあるなど、この事件が後世に与えた影響は大きなものがあります。

その後、明治の文明開化の時代にいたり、京都の町にも西洋風の近代建築がたてられるようになりました。京都の三条通は東海道の西の起点で、当時のメインストリートですので、多くの銀行や郵便局など、当時の重要な施設が造られ、多くの近代建築が残ることになりました。くわえて京都の町が大きな災害や戦災にも遭うことがなかったことも、近代建築が多く残った要因といえます。しかし近年にいたって耐震や老朽化の問題が生じ、徐々に明治の近代建築が姿を消しつつあります。

当館の別館が明治の大建築家辰野金吾の設計で日本銀行京都営業所として建築されてから、2006年で100年を迎えました。幸いこの建物は日本銀行京都支店が現在の河原町二条に移転後も、(財)古代学協会による平安博物館として利用され、1988（昭和63）年以降は、京都文化博物館別館として保存活用されてきました。その間、1969（昭和44）年には国の重要文化財に指定されました。

この度は、別館の築100年を記念して、「京の三条通の近代建築」「辰野金吾設計の近代建築」「京都の近代名建築」の三つを柱に写真パネルを展示し、明治の建築と町並に思いをはせていただきました。

展覧会の構成と主な作品：

[辰野金吾設計の近代建築]

旧日本銀行京都支店（京都文化博物館別館）・旧日本銀行本店（日本銀行旧館）・旧日本銀行大阪支店（日本銀行大阪支店旧館）・南海本線浜寺公園駅・奈良ホテル・

旧松本家住宅（西日本工業倶楽部）・中央  
停車場（東京駅）・大阪市中央公会堂  
[京都の近代名建築]

本願寺大教校（龍谷大学大宮学舎本館）・  
同志社礼拝堂・旧織物会社本館（京都大学  
東南アジア研究所）・京都国立博物館・旧  
聖アグネス教会（平安女学院聖アグネス教  
会）・京都ハリスト正教会・旧京都府庁本  
館（京都府庁旧本館）・旧京都綿ネル本社  
事務所（日本写真印刷本館）・旧陸軍第16  
師団司令部（学校法人聖母女学院本館）・  
長楽館（レストラン長楽館）・旧御所水道  
ポンプ室（九条山浄水場ポンプ室）・旧真  
宗門徒生命保険（西本願寺伝道院）

[京の三条通の近代建築]

～まちなみ今・昔ものがたり～

- ・三条御幸町通南東 旧毎日新聞社京都支店  
アートコンプレックス 1928 昭和5  
(1930) 年築
- ・三条富小路通北西 旧不動貯蓄銀行京都支  
店 SACRAビル 大正5 (1916) 年築
- ・三条御幸町北西 旧有本商店（※） アリ  
モトビル 大正9 (1920) 年築
- ・三条麩屋町西入ル 家邊徳時計店 家邊徳  
時計店 明治23 (1890) 年築
- ・三条柳馬場通南東 京都基督教青年会（※）
- ・京都YMCA三条本館 明治43 (1910) 年  
築
- ・三条柳馬場通北西 日本生命保険京都三条  
ビル 同京都三条ビル 大正3 (1914) 年

築

- ・三条東洞院通 京都郵便電信局 中京郵便  
局 明治35 (1902) 年築
- ・三条烏丸通南西 旧第一銀行京都支店（※）
- ・みずほ銀行京都支店 明治39 (1906) 年  
築
- ・三条両替町通北東 旧西村貿易店 文椿ビ  
ルヂング 大正9 (1920) 年築

特別出品：

- ・大正年間末頃の三条通の模型

※現存せず。古写真のみ展示。

関連イベント：

- ・別館細部探検など歴史建造物を巡る「近代  
建築探検ツアー」 6/24(土)・25(日)
- ・子どもを対象としたクイズラリー〈特製記  
念バッチを進呈〉 6/3(土)～7/2(日)
- ・記念撮影コーナーを設置  
6/3(土)～7/2(日)
- ・府民公募のパフォーマンス大会  
6/10(土)・11(日)
- ・府民公募のプレゼンテーション大会  
6/10(土)・11(日)
- ・100周年記念ミュージアムコンサート（有  
料） 6/22(木) 18:30～
- ・100周年記念宵山コンサート  
7/14(金)～16(日)
- ・100周年記念オータムコンサート  
11/11(土)・12(日)
- ・別館の愛称募集

### (3) 共催展等

#### ◇発明王 エジソン展 ～知られざる天才の秘密～

会 期：2006年4月25日～5月28日（30日間）



「エジソン展」会場風景

休館日：月曜日

入場料：一般：1,000円、大高生700円、  
中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社、  
NHK 京都放送局、NHK きんきメディアブ  
ラン

後援等：

[後 援] 京都市、八幡市、京都府教育委員会、京都  
市教育委員会、八幡市教育委員会、京都商工  
会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、  
歴史街道推進協議会、KBS 京都、エフエム  
京都、発明協会京都支部

[特別協力] 株式会社バンダイ

会 場：4階 特別展示室

担当者：森脇清隆、井上大輔

概 要：発明王トーマス・エジソン（1847-1931）

は、音、光、エネルギー、映像等に関する発明によって、20世紀の文明生活の基礎を築き、生活水準と文化水準の向上に貢献した。その精神は、今日においても最先端技術の開発に受け継がれている。本展は、(株)バンダイのトーマス・アルバ・エジソンコレクション約2,900点から厳選した発明品約230点を公開。エジソンの発明の過程や技術の背景等を探り、日本の未来を担う子どもたちや、若年層から高齢層まで、多くの方々に楽しまれる、好奇心と創造性にあふれた展示によって、エジソンの功績と意志を再考し、次世代へとつなぐものである。

作 品：230点

入場者：22,150人（1日平均738人）

講演会：別館ホール

4月29日「発明品とその原理 ～バンダイ・エジソンアカデミー～」

足立光二氏（株式会社バンダイ・文化事業推進室）

4月30日「エジソンを育てた母の教え」  
ヘンリー幸田氏（米国弁護士・エジソン発明品収集家）

5月5日 手作り電池教室「世界に一つだけの電池をつくろう!」

杉山公律氏（GS・OBベンチャークラブ代表）ほか

#### ◇印象派と西洋絵画の巨匠たち展

～ミレー、モネ、ルノワール、ユトリロ、ピカソ～

会 期：2006年6月8日～7月17日（35日間）

休館日：毎週月曜日、ただし7月17日（月・祝）は開館

会 場：4階 特別展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円  
中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、フジサンケイ



「印象派展」会場風景

ビジネスアイ、サンケイリビング新聞社、関西テレビ放送、KBS京都、ラジオ大阪、エフエム京都

担当者：長舟洋司

概 要：近代美術の転換点となったフランス印象派を中心に、それに先立つロマン主義やアカデミズム、バルビゾン派の絵画と、印象派以降20世紀の現代美術へと至る西洋絵画の展開を東京富士美術館の作品で構成。

作 品：70点（油彩画等35点、版画35点）

入場者：52,322人（一日平均1,945人）

講演会：3階映像ホール

6月24日「フランス近代美術から現代美術へ —創造と葛藤の場—

永井隆則氏（文学博士・京都工芸繊維大学助教授）

#### ◇北斎と広重展

～原安三郎秘蔵 浮世絵風景画コレクション～

会 期：2006年7月26日～8月17日（20日間）

休館日：月曜日

入場料：一般1,000円 大高生700円  
中小生400円



「北斎と広重展」ギャラリートーク



「北斎と広重展」子ども版画ワークショップ

特別鑑賞日：7月26日

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、国際浮世絵学会、アダチ伝統木版画保存財団

協 賛：日本化薬株式会社、セコム株式会社、ソニー株式会社

協 力：中外産業

企画協力：サンオフィス、TBSテレビ

担当者：野口 剛

概 要：葛飾北斎と歌川広重による風景版画の代表的なシリーズを網羅した展覧会で、日本財界の重鎮として活躍した故・原安三郎氏により収集され、秘蔵されてきたコレクションを初公開するもの。風景版画の名品の数々に貴重な肉筆画も加えて展観した。

作 品：葛飾北斎「富岳三十六景」「諸国瀧廻り」「諸国名橋奇覧」「千絵の海」「鮑と細魚」、歌川広重「東海道五拾三次之内」「近江八景之内」「京都名所之内」「雪月花」など243点。

入場者：35,821人（1日平均1,791人）

学芸員によるギャラリートーク：

7月28日、8月5日、8月11日

子ども版画ワークショップ：

7月29日、8月8日

#### ◇マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿展

～名門ハプスブルグの栄華～

会 期：2006年8月26日～10月9日（39日間）

休館日：月曜日〔但し、9月18日、10月9日は会館、9月19日（火）は休館〕

入場料：一般1,200円 大高生800円

中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞、毎日放送

後 援：オーストリア大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、（社）京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議

協 力：オーストリア航空

担当者：藤本恵子・鈴木忠司

概 要：マリア・テレジア（1717-80）は、ハプスブルグ家の宗主であり、神聖ローマ帝国皇帝・カール6世の長女としてウィーンに生まれ、女性としてはじめてオーストリア・ハプスブルグ家を継承しました。その継承をめぐっては、近隣諸国の侵略戦争に翻弄されましたが、傑出した手腕によって軍隊の指揮を執り、戦乱を平定しました。そしてこれまでにない政治改革をすすめ、オーストリアの近代化の道筋をつくったといわれます。

一方で生涯に16人の子供をもうけ、フランス国王ルイ16世に嫁いだマリーアントワネットはその末娘にあたります。オーストリアでは、現在も「国の母」として広く慕われる人物です。また、マリア・テレジアが居城としたシェーンブルン宮殿は、ヨーロッパ屈指のロココ式宮殿として世界遺産に登録されています。

本展では18世紀ウィーンを舞台に開花したマリア・テレジアとその家族の優雅な宮廷生活を、ウィーン美術史美術館およびシェーンブルン宮殿秘蔵の絵画や調度類、衣装や宝飾品の数々を通して紹介しました。



「マリア・テレジア展」会場風景

作 品：女帝マリア・テレジアと家族の肖像、聖シュテファン大十字勲位受勲者のための正装、マリーアントワネットの胸像、マリーアントワネットのライティング・デスク、ファミリア・アウグスタ、ナポリ王フェルディナンド4世の肖像メダイヨン付き時計、聖フランシスコ・ザビエルの胸像型聖遺物箱、センター・ピース、マリア・テレジアのセーブル磁器ほか、91件。

入場者：74,450人（1日平均1,909人）

講演会：別館ホール 13時30分～15時  
9月10日（日）「シェーンブルン宮殿とマリア・テレジアの宮廷生活」  
山之内克子氏（神戸外国語大学助教授）

#### ◇NHK日曜美術館30年展

会 期：2006年12月13日～2007年1月21日  
（29日間）

休館日：毎週月曜日、12月28日～1月3日

会 場：4階 特別展示室、3階 美術工芸常設展示室

入場料：一般1,000円 大高生700円  
中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、NHK京都放送局、NHKきんきメディアプラン

後 援：文化庁、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

担当者：長舟洋司

概 要：日曜美術館の放送が始まってから30年になり、本展はそれを記念する展覧会。本展覧会では、映像資料の中から、特に印象深い番組を編集し、そこで紹介される作家や作品を中心に構成した。作品とともに、番組ゲストの思いや作家の制作過程などの映像と併せて紹介した。

作 品：絵画、彫刻、工芸77点

入場者：26,653人（一日平均919人）

講演会：別館ホール  
1月8日 「日本の美・西洋の美」

高階秀爾氏（京都造形芸術大学院長、東京大学名誉教授）

#### ◇京都府美術工芸新鋭選抜展 ～2007新しい波～

会 期：2007年2月1日～2月15日（13日間）

休館日：毎週月曜日

入場料：大人700円 大高生500円

中小生400円

主 催：京都府・京都文化博物館

後 援：京都新聞社・朝日新聞京都総局・毎日新聞京都支局・読売新聞大阪本社・産経新聞社・日本経済新聞社・NHK京都放送局・KBS京都・エフエム京都・京都商工会議所・平安建都1200年記念協会

担当者：野口 剛・長舟洋司

概 要：京都で活躍している新進作家の作品を広く紹介し、その育成を図るとともに、京都の美術工芸の振興を図る。

作 品：最優秀賞：

〔美術部門〕鎌田祥平「Stone Collection」  
（彫刻）

〔工芸部門〕石田知史「パート・ド・ヴェール蓋物 連作西方への誘い」（諸工芸〔ガラス〕）

入場者：6,363人（1日平均489人）

イベント：こども審査員 2月3日  
出品作家によるギャラリートーク  
2月3日、4日、10日、11日



「新鋭選抜展」子ども審査員



光  
音  
映画

トーマス・エジソン (1847-1931)

THE ACME OF REALISM  
EDISON MONOGRAPH  
STANBARD S&O

京都八幡の竹

パンダイ・コレクション

# 発明王 エジソン展

— 知られざる天才の軌跡 —

2006年4月25日(水)～5月28日(日)

10:00～18:00 日曜日休館

京都文化博物館  
〒616-8183 京都市中京区三条高倉

「発明王エジソン展」ちらし



原空二郎秘蔵浮世絵風景画コレクショント初公開

# 北斎と広重展

— 幻の肉筆画発見 —

平成18年 7.26(木)→8.17(木)

10:00～18:00(入場は17:30まで) 月曜日休館

入場料金 一般1,000円(600円)、大高生700円(500円)、小学生400円(300円)

京都文化博物館、NHK京都放送局、京都府教育委員会、京都府観光局、京都府観光協会、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館、京都府立総合資料館

京都文化博物館  
〒616-8183 京都市中京区三条高倉

「北斎と広重展」ちらし



Maria Theresia und Schloß Schönbrunn

オーストリアの国母として、ヨーロッパに持込んだ偉大な多岐多岐

# マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿展

名門ハプスブルク家の栄華

2006年8月26日(土)～10月9日(月・祝)

10:00～18:00(入場は17:30まで)

月曜日休館(ただし、9月18日(月)と10月9日(月)は開館、9月19日(火)は休館)

入場料金: 一般1,200円(960円) 大高生800円(640円) 小学生500円(400円)

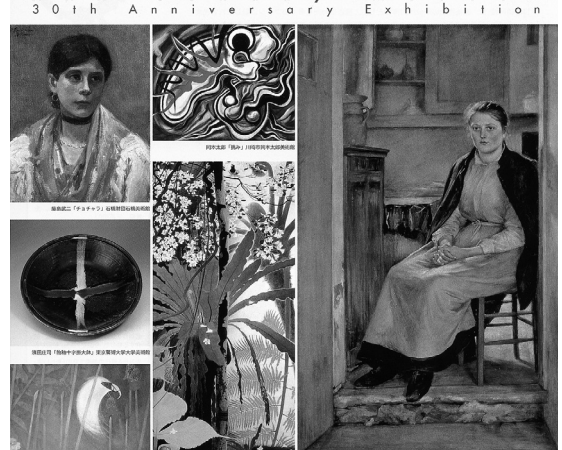
京都文化博物館  
〒616-8183 京都市中京区三条高倉

「マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿展」ちらし

NHK名品と映像でたどる、とっておきの美術案内

# 日曜美術館30年展

NHK Sunday Museum  
30th Anniversary Exhibition



2006.12.13(木) — 2007.1.21(日)

午前10時～午後6時(入場は午後3時30分まで) 休館日 月曜日(祝日のときはその翌日)、12月28日～1月3日

一般1,000円(800円)、大高生700円(560円)、小学生400円(320円)

京都文化博物館、NHK京都放送局、NHK総合テレビジョン

京都文化博物館  
〒616-8183 京都市中京区三条高倉

「NHK 日曜美術館30年展」ちらし



## 2006（平成18）年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
京の食文化展（前年度継続）	2006. 4. 1～ 4.16	14	9,743	696	自主企画
発明王エジソン展 ～知られざる天才の秘密～	2006. 4.25～ 5.28	30	22,150	738	共催展
印象派と西洋絵画の巨匠たち展 ～ミレー、モネ、ルノワール、ユトリロ、ピカソ～	2006. 6. 8～ 7.17	35	52,322	1,495	共催展
北斎と広重展 ～原安三郎秘蔵浮世絵風景画コレクション～	2006. 7.26～ 8.17	20	35,821	1,791	共催展
マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿展	2006. 8.26～ 10. 9	39	74,450	1,909	共催展
始皇帝と彩色兵马俑展 ～司馬遷『史記』の世界～	2006.10.19～ 12. 3	40	70,969	1,774	自主企画
NHK 日曜美術館 30年展	2006.12.13～ 2007.1.21	29	26,653	919	共催展
京都府美術工芸新鋭選抜展 ～2007 新しい波～	2007. 2. 1～ 2.15	13	6,363	489	共催展
近世都の工芸 ～京の美意識と匠の世界～	2007. 2.24～ 3.31	31	17,535	566	自主企画
計8件					

### (4) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等から

テーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は展示会場となる文化施設の事前調査、展示作品の選定、会場での展示指導などに協力している。

主催者	期間	開催場所	展示内容
京都府	2005. 3.23～ 7. 3	京都府庁	「京の四季」から7点
京都府	2005. 7. 4～ 9.27	京都府庁	「京の四季」から7点
京都府	2005. 9.28～ 12.20	京都府庁	「京の四季」から7点
京都府	2005.12.21～ 2006. 3.30	京都府庁	「京の四季」から7点

### 3-3映画

#### (1) 常設上映

#### 2006（平成18）年度3F映像ホール映画上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2006. 4. 1～ 5.28	おもてなしの映画 — 娯楽映画賛歌	鞍馬天狗 江戸日記／続清水港／大江戸五人男／新諸国物語 笛吹童子／二等兵物語／赤胴鈴之助 三つ目の鳥人／ひばり捕物帖 かんざし小判／駅前旅館／ギターを持った渡り鳥／濡れ髪三度笠／新吾十番勝負／斬る／臉の母／冷飯とおさんとちゃん／男はつらいよ／座頭市 あばれ火祭り／顔役	34	68	3,321
2006. 6. 1～ 7. 2	ロケかセットか—映画の中の建物探訪	元禄忠臣蔵(前篇)／元禄忠臣蔵(後篇)／羅生門／源氏物語／新平家物語／樵山節考／ジャン有馬の襲撃／釈迦／宮本武蔵 一乗寺の決斗／893 愚連隊	20	40	2,204
2006. 7. 6～ 7.30	【追悼特集】 映画俳優・田村高廣を偲ぶ	二十四の瞳／遠い雲／野菊の如き君なりき／祇園祭／張込み／仇討／清作の妻／泥の河	16	32	2,267
2006. 8. 3～ 8.27	夏休み子ども映画特集	生まれてはみたけれど／峠／煙突屋ペロー／風の又三郎／手をつなぐ子等／ゴジラ／ノンちゃん雲に乗る／白蛇伝／大魔神	16	32	1,228
2006. 8.31～ 9.17	映画監督・山中貞雄特集	右門一番手柄 南蛮幽霊／丹下左膳余話 百万両の壺／河内山宗俊／戦国群盗伝／人情紙風船／その前夜	12	24	1,027
2006. 9.21～ 10. 1	【第5回新京極映画祭連携企画】 信念の代償—いのち燃やします	下郎の首／けんかえれじい／にっぽん戦後史 マダムおんぼろの生活／竜馬暗殺	8	16	785
2006.10. 5～ 10.29	【第5回京都映画祭協賛企画】 大映京都作品を彩った女優たち	愛妻物語／地獄門／夜の河／女狐風呂／弁天小僧／ぼんち／雁の寺／破戒	16	32	1,852
2006.11. 2～ 11.12	【「きものの似合うまち・京都」 推進事業協賛】 映画の中のきもの — 粋でいなせな艶姿	偽れる盛装／日本橋／緋牡丹博徒 お竜参上／鬼龍院花子の生涯	8	16	970
2006.11.16～ 11.19	「始皇帝と彩色兵馬俑展」記念 中国映画上映	テラコッタ・ウォリア・秦俑／HERO	4	8	578
2006.11.23～ 11.26	【上方ルネッサンス 2006 楽劇 の祭典協賛企画】 近松原作映画集—妻敵討ち二題	夜の鼓／近松門左衛門 鐘の権三	4	8	427
2006.11.14～ 11.29	ヘルムート・コイトナー 特集 (DVD 上映)	さようなら、フランツィスカ／短調のロマンス／グローセ・フライハイト 7番地／橋のたもとで／あの頃は／最後の橋／ルートヴィヒ 2世／悪魔の将軍／雨の夜の銃声／ケペニツクの大尉／チャーリヒで婚約を／赤毛の女	6	12	472
2006.11.30～ 12.24	映画にみる家族の肖像 — 姉妹・兄弟	兄いもうと／兄とその妹／戸田家の兄妹／宗方姉妹／あにいもうと／お遊さま／姉妹／異母兄弟	16	32	1,526
2006. 1. 4～ 2.25	映画監督・伊藤大輔特集	御誂治郎吉格子／鞍馬天狗／素浪人罷通る／王将／われ幻の魚を見たり／おぼろ駕籠／番町血屋敷 お菊と播磨／春琴物語／元禄美少年記／明治一代女／地獄花／いとはん物語／女と海賊／反逆児／この首—万石／幕末	32	64	3,483
2006. 3. 1～ 4. 1	女性シナリオ作家特集	おかあさん／獅子の座／流れる／野火／キクとイサム／黒い十人の女／にっぽんのお婆あちゃん／私は二歳	16	32	1,795
2006. 3.15～ 3.18	【太秦シネマフェスティバル協 賛上映企画】 世界が認めた先達の仕事 — ほんまもの京都映画	羅生門／山椒大夫／切腹／武士道残酷物語	4	8	603

## (2) 特別上映・共催事業

### ◇映画の保存と復元に関するワークショップ

共 催：大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、  
IMAGICA ウェスト

会 場：IMAGICA ウェスト

内 容：映画の保存と復元に関する講義3日間、  
フィルム復元作業の演習2日間、フィルム  
復元作業6日の計11日間にわたるワーク  
ショップ。

期 間：2006年9月4日～15日

参加者数：35人

### ◇日本映像学会関西支部 第28回夏期ゼミナール 2006年

「成瀬巳喜男監督特集 ― 生活者として生きる女たち」

共 催：京都府、日本映像学会関西支部

会 場：京都府立ゼミナールハウス

内 容：『稲妻』（1952）、『浮雲』（1955）等9作  
品の上映とシンポジウム。

期 間：7月31日～8月2日

参加者数：34人

### ◇【第5回新京極映画祭連携企画】

信念の代償 ― いのち燃やします

協 力：新京極商店街振興組合

会 場：3階 映像ホール

内 容：『下郎の首』（1955）、『けんかえれじい』  
（1966）等4作品の上映。

期 間：9月21日～10月1日

鑑賞者数：785人

### ◇【第5回京都映画祭協賛企画】

大映京都作品を彩った女優たち

協 力：京都映画祭実行委員会

会 場：3階 映像ホール

内 容：『愛妻物語』（1951）『地獄門』（1953）等  
8作品の上映。

期 間：10月5日～29日

鑑賞者数：1,852人

### ◇「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画

映画の中のきもの ― 粋でいなせな艶姿

協 力：京都府染織・工芸室、和装振興財団

会 場：3階 映像ホール

内 容：『偽れる正装』（1951）、『日本橋』（1956）  
等4作品の上映と資料展示。

期 間：11月2日～12日

鑑賞者数：970人

### ◇ヘルムート・コイトナー監督作品特集（DVD上映）

共 催：京都ドイツ文化センター

会 場：3階 映像ホール

内 容：『さようなら、フランツィスカ』（1941/42）  
等12作品のDVD上映。

期 間：11月14日～29日

鑑賞者数：472人

### ◇「始皇帝と彩色兵馬俑展」記念中国映画上映

会 場：3階 映像ホール

内 容：『テラコッタ・ウォリア/秦俑』（1989）、  
『HERO』（2002）の上映。

期 間：11月16日～19日

鑑賞者数：581人

### ◇上方ルネッサンス2005 楽劇の祭典 協賛上映

「近松原作映画集 ― 妻敵討ち二題」

協 力：関西楽劇フェスティバル協議会

会 場：3階 映像ホール

内 容：『夜の鼓』（1958）、『近松門左衛門 鍵の権  
三』（1986）の上映。

期 間：11月23日～26日

鑑賞者数：427人

### ◇【京都太秦シネマフェスティバル協賛上映企画】

「世界が認めた先達の仕事 ― ほんまもんの京都映画」

協 力：文化庁、映画製作者連盟

会 場：3階 映像ホール

内 容：『羅生門』（1951）『山椒大夫』（1954）等  
4作品の上映。京福電車、大映太秦通り商  
店街を映画ポスター（複製）で飾るイベン  
トへの資料協力。

期 間：2007年3月15日～18日

鑑賞者数：603人

## (3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期  
の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮  
影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品か  
ら73作品をダイジェストして収録し、検索システム  
として公開している。詳細については、『京都文化博物

館10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。なお、  
映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチ  
ル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしなが  
ら公開している。2006年度は下記のテーマで展示し  
た。

## 2006（平成18）年度3Fギャラリー展示

期 間	テ ー マ
2006.04.01～05.28	おもてなしの映画—娯楽映画作品資料展示
2006.06.01～07.02	ロケかセットか—映画の中の建物関連資料展示
2006.07.06～07.30	映画俳優・田村高廣出演作品資料展示
2006.08.03～08.27	夏休み子ども映画資料展示
2006.08.31～10.01	映画監督・山中貞雄／信念の代償関連資料展示
2006.10.05～10.29	大映京都作品を彩った女優たち資料展示
2006.11.02～11.29	女優の和装美／中国映画／近松映画関連資料展示
2006.11.30～12.24	映画にみる家族の肖像関連資料展示
2007.01.04～02.25	映画監督・伊藤大輔作品資料展示
2007.03.01～04.01	女性シナリオ作家作品／ほんまもんの京都映画資料展示

### (4) 映画関係資料の整理

当館では映画関係資料を多く所蔵しており、開館当初から順次整理作業を進めている。資料は映画関連書籍・雑誌、シナリオ、映画宣伝スチル写真、プライベート写真、スナップ写真、書簡、撮影メモ等から構成されているが、「伊藤大輔文庫」「大映京都撮影所寄

贈資料」はこのうちの中核をなすものである。2006年度はこれらを中心に、プライベート・スナップ写真やロケーション・ハンティング資料、書簡など、専門的かつ個人的な傾向の資料約2,000点の整理、解説（裏書き）を行った。

### (5) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	下田 元美	京都府文化芸術室長
中村 努	シナリオライター	荒巻 禎一	内部委員
奈村 協	東映京都撮影所長	鈴木 真咲	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	青木 完一	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督		
山田 善夫	京都興行協会常任理事		

## 4. 調査研究活動

### 4-1 学芸員の活動

#### (1) 博物館研究費による研究

- 鈴木忠司 ・岩宿時代の食体系の研究 ―根茎類の採集効率の検討と石蒸し調理実験をとおして―
- 横山和弘 ・摂関・院政期の首都京都に関する仏教文化史的研究
- 畑 智子 ・明治期の在外日本陶磁コレクションについて
- 野口 剛 ・中・近世絵画における源氏物語受容に関する調査・研究

#### (2) 外部研究費・共同研究等による研究

- 鈴木忠司 ・文部科学省科学研究費基盤研究 (B) (1) 「日本における稲作以前の主食植物の研究」(代表:新潟県立歴史博物館) 研究協力者
- 畑 智子 ・鹿島美術財団助成金「近代七宝工芸の図案に関する基礎的研究」
- ・日本科学協会海外発表促進助成金「国粋主義スタイルの追求 ―19世紀日本のナショナリズムと装飾工芸デザイン」
- ・「京都を中心とした、日本の伝統工芸の過去・現在・将来」国際日本文化研究センター共同研究員(代表:稲賀繁美教授) 2003.4~2006.9
- 野口 剛 ・文部科学省科学研究費基盤研究 (B) (1) 「江戸時代における「書画情報」の総合的研究 ―『古画備考』を中心に―」(代表:玉蟲敏子武蔵野美術大学教授) 研究協力者
- 植山 茂 ・科学研究費基盤研究B「統一新羅時代瓦の総合的研究」(代表:高正龍立命館大学教授) 研究協力者
- 南 博史 ・「エルサルバドル考古学プロジェクト」(新大陸文化研究会:伊藤伸幸名古屋大学助手)
- 森脇清隆 ・大阪芸術大学藝術研究所特別プロジェクト「玩具映画及び映画復元・調査・研究プロジェクト」(代表:太田米男大阪芸術大学教授) 研究協力者

#### (3) 出講・委嘱

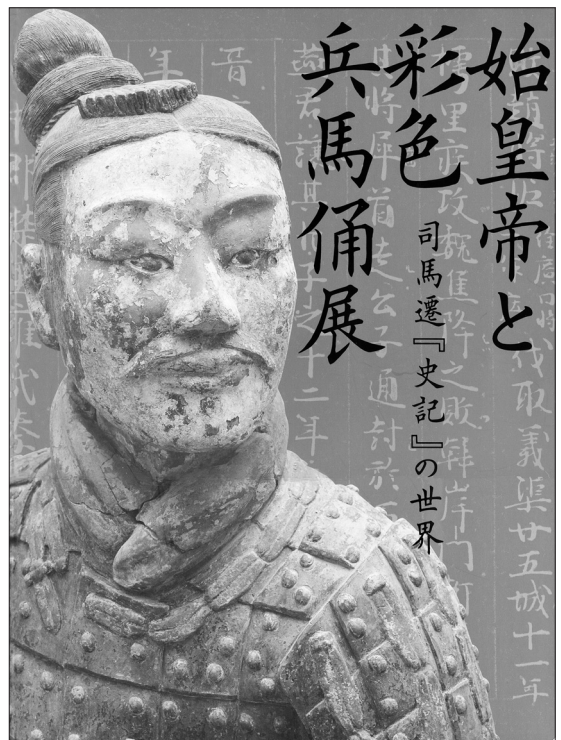
- 畑 智子 ・京都府美術工芸新鋭選抜展 審査員
- ・福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
- 藤本恵子 ・第41回西部工芸展(日本伝統工芸展西武支部展) 鑑査副委員(2006年4月)
- ・「千総コレクション 京の優雅~小袖と屏風」巡回展展示指導於:富山水墨美術館(2006年7月)
- ・「千総コレクション京の優雅~小袖と屏風」巡回展展示指導 於:福岡市博物館(2006年11月)
- 洲鎌佐智子・創工会 審査員
- 鈴木忠司 ・古代学協会委嘱『古代文化』刊行委員会編集参与
- ・岩宿文化賞選考委員
- 植山 茂 ・京都府立大学出講(通年)「博物館実習講義」
- 南 博史 ・京都外国語大学出講(通年)「博物館実習Ⅰ」(前期のみ)、「博物館学Ⅰ・Ⅱ」
- ・古代学協会委嘱『古代文化』刊行委員会編集参与
- 森脇清隆 ・京都国際学生映画祭 顧問
- ・京都映画祭 運営協力委員
- ・芸術科学会関西支部 幹事
- 横山和弘 ・愛知県史編さん委員会 調査協力員
- ・安城市史(愛知県)編集委員会 調査協力員

#### (4) 学芸員の業績

##### a. 論文・著作

- 畑 智子 ・「19世紀アメリカの対日イメージと戦争の影響」(『戦争と平和を考える』嵯峨野書院、家正治編、2006年9月)。
- ・「研究ノート/ジェイムズ・ロード・ボウズ著 *Keramic Art of Japan* (『日本の陶磁器』)について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第19集所収、2007年3月)。
- 藤本恵子 ・「近世 京都の染織品 ~16世紀から19世紀の小袖意匠を中心に~」(『近世 都の工芸 ~京の美意識を支えた技と人々~』展図録所収、2006年2月)。

- ・「清流会所蔵品から 一私の好きな1点」  
(小合友之助『青空』染・清流館開館記念号『SOME』No.1、2006年10月)。
- 長舟洋司 ・「田村宗立 ～京都洋画のさきがけ～」  
(『園部町史通史編 図説 園部の歴史』所収、2006年12月)。
- ・「田村宗立の画技・「日本画」と「洋画」」  
(京都国立近代美術館ニュース『視る』428号(2007年1-2月号)所収、2007年1月)。
- 洲鎌佐智子 ・「近世 都の漆器と職人達」(『近世 都の工芸  
～京の美意識と匠の世界～』展図録所収、  
2006年2月)。
- ・「近世 都の工芸 一京の美意識と匠の世界  
一」展(『京都新聞』、2007年3月10日)。
- 野口 剛 ・《如拙道人の筆に擬す》とは、これ如何  
一池大雅筆「柳下童子図屏風」序説一  
(河野元昭先生のための日本美術史論集  
『美術史家、大いに笑う』ブリュッケ、  
2006年4月)。
- ・大西酔月筆高士騎牛図(『国華』1335号  
国華社、2007年1月)。
- ・『丹後国天橋立之図』(『扶桑名勝図』)を  
めぐって(『日本三景への誘い』清文堂、  
2007年2月)。
- 鈴木忠司 ・「ドンダリの可食化に関する食品科学的  
検討 Ⅰー渋味成分(タンニン)の抽出お  
よび定量方法の確立ー」(『日本におけ  
る稲作以前の主食植物の研究』基盤研究  
(B)(1)研究成果報告書(研究代表者:  
西田泰民)』所収、2007年3月)、共著。
- ・「ドンダリの可食化に関する食品科学的  
検討 Ⅱー岩宿堅果類利用に関する実験  
考古学的試みー」(同上、2007年3月)、  
共著。
- ・「岩宿(旧石器)時代の台石ーデンプン質  
食料をめぐってー」(同上、2007年3月)。
- ・「石蒸し調理実験記録7 一破損率の進行  
と使用回数、礫群規模と調理量をめぐっ  
てー」(『朱雀』第19集所収、2007年3  
月)、共著。
- 植山 茂 ・「山崎の『猪』」(京都府立総合資料館『総  
合資料館だより』No.150所収、2007年  
1月)。
- 南 博史 ・「姿を現してきた秦漢フィールドミュー



展覧会図録「始皇帝と彩色兵馬俑展」(表紙)

- ジウム群」(『始皇帝と彩色兵馬俑展』図  
録所収、TBS・博報堂、2006年7月)。
- ・「作品解説」(『始皇帝と彩色兵馬俑展』図  
録所収、TBS・博報堂、2006年7月)。
- ・「始皇帝と彩色兵馬俑展特集記事」(『毎日  
新聞』2006年10月17日掲載)。
- ・「始皇帝と彩色兵馬俑展」(『文化財保護基  
金だより』所収、2006年10月)。
- ・「始皇帝と彩色兵馬俑展連載記事」(『毎日  
新聞』2006年10月10日～15日、5回  
掲載)。
- 森脇清隆 ・「映画と音の良い関係」(『京都新聞』、  
2005年10月31日)。
- ・「フィルムアーカイヴとデジタル・テク  
ノロジー」(『芸術科学会学会誌『DiVA』  
10号所収、2006年4月)。
- ・「エジソン社の初期映画作品について」、  
「映像機器の開発」、「エジソンの映画撮  
影所」、「エジソン社の映画紹介」、「家庭  
用22mm映画について」(『発明王エジソ  
ン展』展覧会図録所収、2006年4月)。
- ・ふぉーらむ京『子供の目線でエジソン展』  
(『京都新聞』、2006年6月26日)。
- ・「第五回京都映画祭公式カタログ」作品  
解説・「五番町夕霧楼」、「湖の琴」、「花

- くらべ狸御殿」(第五回京都映画祭実行委員会刊、2006年10月)。
- 横山和弘 ・「後宇多王権による空海「聖跡」の興隆—槇尾平等心王院我宝と土佐国室戸金剛頂寺・最御崎寺をめぐる—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第19集、2007年3月)。
- b. 発表・講演**
- 畑 智子 ・「Pursuit of National Style –Nationalism and the Design of Decorative Arts in the 19th Century」(国際デザイン会議、於ノフィンランド・ヘルシンキ芸術大学、2006年8月24日)。
- 鈴木忠司 ・「埋納銭」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2006年6月17日)。
- 植山 茂 ・「編鐘と中国の楽器」(長谷川有機子「編鐘 ゆらぎの音コンサート」、ギャラリーカフェふじひら、2006年7月14日)。
- ・「平安宮の瓦が語ること」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2006年10月7日)。
- ・『源氏物語と音楽』(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2006年11月25日)。
- ・『出土した中国陶磁』(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2007年3月10日)。
- 南 博史 ・「京都文化博物館の楽しみ方」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2006年5月20日)。
- ・「始皇帝と彩色兵馬俑展の見どころ」(特別展記念講演会、2006年10月22日)。
- ・「匠の世界：彩色復元」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2006年10月5日)。
- ・「匠の世界：文化財を護る」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2006年12月10日)。
- 藤本恵子 ・「マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿」展ギャラリートーク(2006年9月26日)。
- 森脇清隆 ・講演「文系博物館での理系展覧会を開催すること—発明王エジソン展」(2006年6月7日、芸術科学会関西支部イヴニング・セミナー、京都大学情報メディアセンター)。
- ・シンポジウム「失われた映画を求めて—フィルム・アーカイヴの取り組み」(2006年7月9日、福岡市総合図書館)。
- ・京都国際学生映画祭運営ワークショップ「映画の上映と映写について」(2006年8月9、10日、大学コンソーシアム京都)
- ・映画の保存と復元に関するワークショップ「デジタル技術を媒介にしたフィルム復元」(2006年9月4日、IMAGICA ウェスト)。
- ・三条あかり景色「オーロラ・スクリーンによるインスタレーション」制作監修(2006年9月16～18日、高瀬川タイムスピル)。
- ・講演「映画に見る大阪人気質」(2006年11月4日、大阪歴史博物館)。
- ・玩具映画および映画復元・調査・研究プロジェクト研究発表「映画復元の現状と課題」(2007年1月14日、大阪芸術大学芸術研究所)。
- ・講演「敗残の美学—映画史からみた伊藤大輔作品について」(2007年2月21日、京都精華大学)。
- 長舟洋司 ・「印象派と西洋絵画の巨匠たち展について」(ウェブサンケイ展覧会解説、京都文化博物館、2006年6月21日)。
- 洲鎌佐智子 ・京都文化博物館友の会文化講座(京都文化博物館、2007年3月14日)。
- ・「近世都の工芸展への誘い」(京都文化博物館、2007年3月24日)。
- 野口 剛 ・「北斎と広重展」ギャラリートーク(2006年7月28日、8月5日、11日)。
- ・シンポジウム「狩野派絵師の多様な仕事」(武蔵野美術大学、2006年10月)。
- ・二の丸御殿 障壁画特別講演会「鶴澤派—探幽と応挙をつないだ画派—」(二条城、2006年11月)。
- ・大津市歴史博物館土曜講座「応挙の写生画と鶴澤派」(大津市歴史博物館、2006年11月)。
- 横山和弘 ・「後宇多王権による空海「聖跡」の興隆—槇尾平等心王院我宝と土佐国室戸金剛頂寺・最御崎寺をめぐる—」(中世史研究会、名古屋テルミナビル、2006年11月18日)。
- ・「首都としての京都—2階常設展示室に



展覧会図録「近世 都の工芸」(表紙)

みる「首都」京都ー」(MOKの会例会、京都文化博物館、2007年1月13日)。  
 ・「東三条殿にみる寝殿造」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2007年1月20日。)

**(5) ワークショップ開催件数と参加人数**

美術工芸常設展示「京の雛めぐり吉川観方コレクションの雛人形」展関連企画

**A) 手で触れる京の人形親と子の観賞会**

日 時：2月3日(日) 14時～16時

対 象：小学校高学年～中学生

参加費：無料

講 師：藤本恵子(当館学芸員)

参加人数：子供6名、保護者5名計11名



## 5. 普及活動

### 5-1 出版物

#### (1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

##### ◇『朱雀』第19集

発行：京都文化博物館  
発行日：2007年3月31日  
印刷：(株)吉川印刷工業所  
体裁：B5判、118ページ  
編集担当：鈴木忠司

所載記事：

##### 【論攷】

- 横山和弘 後宇多王権による空海「聖跡」の興隆  
一槇尾平等心王院我宝と土佐国室戸金  
剛頂寺・最御崎寺をめぐる一
- 市川 彰 若冲画に示されたもの2—《初期作品  
「雪梅雄鶏図」をめぐる一
- 大矢敦子 尾上松之助のページェント公演に関する  
考察

##### 【研究ノート】

- 鈴木忠司・武内直文・礫群調理実験グループ  
石蒸し調理実験記録(7) —礫破損の進  
行と使用回数、礫群規模と調理量をめ  
ぐる一
- 畑 智子 ジェイムズ・ロード・ボウズ著  
*Keramic Art of Japan* (『日本の陶磁  
器』)について

##### 【資料紹介】

- 森 雅樹 俗曲考 —花街五番町の元芸妓よりの間  
き取り—

#### (2) 京都文化博物館年報

##### ◇2005年度

編集・発行：京都文化博物館  
発行日：2007年3月31日  
印刷：(株)吉川印刷工業所  
体裁：A4判、48ページ  
編集担当：鈴木忠司

#### (3) 展覧会図録

##### ◇『始皇帝と彩色兵馬俑展 ～司馬遷『史記』の世界～』

編集：小田部英勝  
発行：TBSテレビ、博報堂  
発行日：2006年7月31日  
制作・印刷：美術出版デザインセンター  
体裁：A4判、203ページ

##### ◇『近世 都の工芸 一京の美意識と匠の世界—』

編集：京都文化博物館学芸課  
発行：京都文化博物館  
発行日：2007年2月24日  
制作・印刷：ニューカラー印刷株式会社  
体裁：A4判、214ページ  
編集担当：洲鎌佐智子・藤本恵子

##### ◇『京都府美術工芸新鋭選抜展 ～2007新しい波～』

編集・発行：京都府・京都府京都文化博物館  
発行日：2007年2月1日  
制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社  
体裁：タテ25cm×ヨコ21cm、58ページ  
※各書の奥付に発行日のないものは、その展覧  
会の開始月を挙げた。

### 5-2 講演会・音楽会

#### (1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2006.4.29	足立 光二	バンダイ文化事業 推進室	発明品とその原理 ～バンダイエジソンアカデミー～	「発明王エジソン」展講演会
2006.4.30	ヘンリー幸田	エジソン発明品収集家	エジソンを育てた母の教え	「発明王エジソン」展講演会
2006.4.30	大塚 活美	当館学芸員	描かれた京	歴史常設展展示解説
2006.5.20	南 博史	当館学芸員	京都文化博物館の楽しみ方	歴史常設展展示解説
2006.6.17	鈴木 忠司	当館学芸員	埋納銭	歴史常設展展示解説
2006.6.24	永井 隆則	京都工芸繊維大学 助教授	フランス近代美術から現代美術へ ～葛藤と創造の場～	「印象派と西洋絵画の巨匠たち」展 講演会
2006.7. 8	南 博史	当館学芸員	京縫い	歴史常設展展示解説
2006.7.28	野口 剛	当館学芸員		「北斎と広重」展ギャラリートーク
2006.8. 5	野口 剛	当館学芸員		「北斎と広重」展ギャラリートーク
2006.8.12	南 博史	当館学芸員	心をつなぐ紋家	歴史常設展展示解説
2006.8.11	野口 剛	当館学芸員		「日本三景展」ギャラリートーク
2006.9. 9	南 博史	当館学芸員	型友禅	歴史常設展展示解説

2006.9.10	山之内克子	神戸外国語大学助教授	シェーンブルン宮殿とマリア・テレジアの宮廷生活	「マリア・テレジアとシェーンブルン宮殿」展講演会
2006.10.7	植山 茂	当館学芸員	平安宮の瓦が語ること	歴史常設展展示解説
2006.10.19	趙 昆	秦始皇帝兵馬俑博物館	始皇帝陵の最新発掘成果	「始皇帝と彩色兵馬俑」展講演会
2006.10.22	南 博史	当館学芸員	始皇帝と彩色兵馬俑展の見どころ	「始皇帝と彩色兵馬俑」展講演会
2006.11.5	鶴岡 和幸	学習院大学教授	新鑑定国の遺産	「始皇帝と彩色兵馬俑」展講演会
2006.11.25	植山 茂	当館学芸員	源氏物語と楽器	歴史常設展展示解説
2006.12.2	南 博史	当館学芸員	建築装飾	歴史常設展展示解説
2007.1.8	高階 秀爾	東京大学名誉教授	日本の美・西洋の美	「日曜美術館 30年」展講演会
2007.1.20	横山 和弘	当館学芸員	東三条殿に見る寝殿造	歴史常設展展示解説
2007.2.10	拝師 知行	株式会社大同	文化財を護る	歴史常設展展示解説
2007.2.24	岡 佳子	大手前大学助教授	京のやきもの 一江戸時代後期の名工を中心に	「近世 都の工芸」展講演会
2007.3.10	植山 茂	当館学芸員	出土した中国陶器	歴史常設展展示解説
2007.3.24	洲鎌佐智子	当館学芸員	「近世 都の工芸」展への誘い	「近世 都の工芸」展講演会

## (2) 音楽会

### a. 京都文化博物館音楽会シリーズ

「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会

協 賛：吉忠株式会社

協 力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：

岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・

京都文化財団理事）

### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XV 弦楽による二重奏・三重奏の秘めたる輝き

第4夜	超絶技巧を悪魔のごとく駆使した大ヴァイオリニスト	ーヴィエニアフスキー	2006年4月21日	84名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）			
演 奏	田辺良子（ヴァイオリン）／藤木愛（ヴァイオリン）			
曲 目	ヴェニアフスキー：二つのヴァイオリンのためのエチュード・キャプリース Op.18			
第5夜	弦楽二重奏に表れた天才の輝き	ーコダーイ・ラヴェル	2006年6月22日	74名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）			
演 奏	木村みお（ヴァイオリン）／日野俊介（チェロ）			
曲 目	コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲、Op.7 ラヴェル：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ			
第6夜	弦楽三重奏の不滅の古典	ーモーツァルト、ベートヴェン	2006年8月18日	129名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）			
演 奏	日比浩一（ヴァイオリン）／竹内晴夫（ヴィオラ）／日野俊介（チェロ）			
曲 目	モーツァルト：弦楽三重奏曲：デイベルティメント 変ホ長調 K563 ベートヴェン：弦楽三重奏曲・セレナーデ 二長調 OP.8			

### ◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XVI ウィーン音楽の旅立ちー中欧からスラヴへ

第1夜	天才モーツァルトの軌跡		2006年10月19日	104名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）			
演 奏	藤満 健（ピアノ）			
曲 目	モーツァルト／アイネクライネ・ナハトムジーク ト長調 K525 モーツァルト／ピアノ・ソナタ 第11番 イ長調（トルコ行進曲付き）K331 モーツァルト／交響曲 第38番 二長調 K504			
第2夜	ブラームスからドヴォルザークへ		2006年12月21日	131名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）			
演 奏	田辺良子（ヴァイオリン）／大谷正和（ピアノ）			
曲 目	ブラームス／スケルツォ（F.A.E.のソナタ）より ブラームス／ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番 イ長調 OP.100 ドヴォルザーク／ヴァイオリンとピアノのためのソナタイナ ト長調 Op.100 他			
第3夜	スラヴ圏への拡大 ショパン		2007年2月22日	124名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）			
演 奏	田淵千代子（ピアノ）			
曲 目	ショパン／24の前奏曲 Op.28より。バラード第3番。ピアノソナタ第3番 口短調 Op.58			

## b. 祇園祭協賛事業

日 時：2006年7月14日、15日、16日

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ  
うじ店舗博和会

会 場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：

7月14日 フラソニック ハワイアンバンド（ハ  
ワイアン）  
バンドネオン・アンサンブル（タンゴ）  
サウンド エコーズ（ハワイアン）  
ラッシー（カントリー・オールタイム  
ムブルーグラス）  
K's Box Band（オールディーズ）  
カエルプロジェクト（アイルランド音  
楽）  
サントロペーの仲間達（シャンソン・  
カンツォーネ）  
ヴァイオリン・ピアノ Duo（クラシッ  
ク）  
L.A.（'70 ポップス）  
Cats and Doll（ジャズコンボ、ポー  
カル）

7月15日 花とおじさん（オールディーズ）  
sofa（ジャズ・ボサノバ）  
Grand Chariot（クラシック・ポップ  
ス）  
ニューサウンズ・オーケストラ（ジャ  
ズコンボ）  
Bon Appetit + 池田清美（ボサノバ）  
purities（フォーク）  
DRIFTING HOBOES（カントリー）  
Yukiko & Yoko's Band with 井上章一  
（ジャズ）

7月16日 Alma de la musica（ラテン）  
足立恵ニインターアクション（ジャ  
ズ・ボサノバ）  
ふら〜っとオールスターズ（ジャズ・  
ポップス）  
ニューシャープハードオーケストラ  
（ジャズ・スウィング）  
生田流宮城社麗調会社中（箏曲演奏）

入場者：5,483人

\* 祇園祭協賛事業として開催し、午後9時まで  
別館の開館時間を延長した。

## 5-3 博物館実習

実施期間：2006年8月8日～11日

実習生：京都府立大学4名、立命館大学4名、京都  
造形芸術大学2名、京都外国語大学2名、  
成安造形芸術大学2名、京都ノートルダム  
女子大学1名、大阪成蹊大学1名、鳥取大  
学1名

実習内容・担当者：

・博物館の概要・館内見学 …………… 鈴木・畑  
・美術資料について …………… 野口

・陶磁器について …………… 洲鎌  
・染織品について …………… 藤本  
・旧日本銀行京都支店の修復保存と  
活用について …… 鈴木  
・考古資料について …………… 植山  
・映像資料について …………… 森脇  
・展示環境について …………… 長舟  
・まとめと反省 …………… 全担当学芸員

## 5-4 その他の活動

### (1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像  
など多分野にわたり、現在単行本約67,200冊、逐次  
刊行物約3,200タイトル（71,400冊）を収蔵してい  
る。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約27,800  
冊、展覧会図録が約11,000冊と多く、また、映画の  
シナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴であ  
る。これらの図書資料については、研究目的で特に閲  
覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度

の書籍の受け入れ数は、2,800件であった。

### (2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とす  
る美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチ  
ラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持  
ち帰ることができるようにするとともに、近畿の歴史  
文化についてのDVDによる動画情報の「歴史街道一  
口マンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供してい

る。また、NTTの無線LANスポットの設置場所にもなっている。

### (3) 生涯学習ボランティア

当館の生涯学習ボランティアは、京都府長寿社会政策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じて平成6年4月15日に英語ボランティア・グループ「MOKの会」を結成した。

以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示（歴史展示室）において英語によるガイドとしてサービスを行っている。

また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を実施している。

#### ◇2006年度の役員（会員数42名）

会長：志賀 博  
副会長：木村弘子  
副会長：日下部純江

#### ◇2006年度の活動

2006年 4月 9日 2006年度総会  
6月11日 新人研修会 新会員：原田道子

6月18日 6月例会  
9月 9日 9月例会  
9月16・17日 SKYふれあいフェスティバル2006参加  
10月26日 京都府生涯学習文化施設ボランティア連絡会「第9回学習のひろば」主催（於：京都文化博物館）  
11月12日 見学研修会中止（予定していた兵庫県立歴史博物館リニューアルのため）  
2007年 1月14日 1月例会  
2月17日 京都市国際交流協会「情報カウンターボランティア研修」への対応  
3月 2階 歴史展示室英文キャプション翻訳作業  
3月10日 3月例会 2007年度役員選出  
会長：千歳京造  
副会長：高木美代子  
副会長：大林恭子

### (4) 団体案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館が約6,000人ある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、常設展示、特別展等の解説に応じている。グループ来館件数は160件前後で、このほぼ半数が解説を希望されている。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行なわれることが主体で、全体のほぼ半分をしめるが、各種の

サークルによる訪問も多い。学校の区分では中学校が約24%で一番多い。これに高校、大学、小学校がつぐ。このなかでは修学旅行の勉強の一環として質問事項を携えた数人のグループによる来館が目につく。好ましいことである。大学生の場合は博物館実習の一環としての見学が少なくない。

#### 平成18年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	177	707	735	473	94	421	994	743	271	344	196	382	5,537
来館件数	8	16	19	14	4	10	17	29	11	12	6	8	154
解説件数	2	9	8	5	3	4	7	22	2	4	3	5	74

### (5) 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

#### 1. 会員の特典

- ・会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引

- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・博物館発行出版物の割引

#### 2. 会費

- ・個人会員年会費6000円
- ・グループ会員（2名以上）年会費5000円

#### 3. 2006年の状況

会員総数；714名（個人516名、グループ198名）

#### ◇見学会

第1回 2006年6月20日(火)

見学先 京都府庁旧本館及び閑院宮邸跡

説明者 小宮 睦氏（文化財保護課建造物第2係技術）

参加者 45名

第2回 2006年7月22日(土)

見学先 宇治上神社から白川集落



2006年6月20日「友の会」見学会  
(京都府庁)



2006年7月22日「友の会」見学会  
(宇治上神社)



2007年3月14日「友の会」主催講演会  
(都の工芸展)

説明者 服部明信、服部喜代子氏（宇治市ボランティア）

参加者 30名

第3回（第81回 文化財研修講座）

2006年11月21日

見学先 仁和寺、同霊宝館（文化財保護基金と共催）

参加者 54名（友の会会員）

#### ◇文化講座

2007年3月14日

（近世 都の工芸展概要と会場説明）

場 所 別館講義室及展示会場

参加者 25名

講 師 洲鎌佐智子（文化博物館学芸員）

### (6) 地域との連携

#### ①「まちなかを歩く日」への参加と協力

地域住民・団体が中心となってすすめている「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」（2000年7月設立）が、活動趣旨の啓発と普及を図るために地域全体で開催する「まちなかを歩く日」のイベント（11月11・12日）に、当館も昨年に引き続き参加した。第7回目となる今回は、「歩く人が主役になる2日間。秋の週末は、京のまちなかへ」を活動のテーマとし、京のまちなか9学区（城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠）において、さまざまな活動が行われた。

当館が協力・参加した活動は以下のとおりである。

- 「イベントめぐりスタンプラリー」に対する協力・発着点業務など
- 別館前総合情報拠点設置（11・12日）
- 「オータムコンサート」（11・12日）
- ふんばく・おこしやすフリーマーケット（11日）  
高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。
- 京都文化博物館地域子ども文化教室主催「子どもたちよっといで！『三条通りジクソーパズル』」（11・12日）

#### ②「京都文化博物館地域子ども文化教室」事業の共催

日本博物館協会の委託事業として、今年度「地域子ども安全教室活動」へ教育普及活動を実施するための実行委員会を設立。博物館との協同のもと年間を通して安全な地域づくり、京都文化に対する子どもの関心を高める活動を行った。

【委員会名簿】 西嶋直和（代表）、柁木良子、河野

- 泰、長谷川忠夫、西村祐一
- 【事務局】 南博史、森木礼子、磯野真知子
- 【おもな活動】
- ・夏休み子ども京都文化教室
  - ・博物館内ぐるぐる探検ツアー
  - ・兵馬俑展、エジソン展など展覧会関連活動
  - ・手で触れる京の人形子どもワークショップ
  - ・まちなかを歩く日関連活動「子どもたちよっといで！『三条通りジクソーパスル』」

### ③「関西文化の日」事業への連携

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、11月18日(土)、19日(日)の両日協力した。常設展を無料開放し、2日間で1,042人(18日：534人、19日：508人)の方々にお越しいただいた。無料ということもあり、お客様の反応もよく、普段博物館になじみのない方にも親しんでいただくことができた。

### ④「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日(日)から12月25日(月)まで、本事業への協力を行った。期間中には、和服姿の来館者が目に見えて増加し、本事業の定着と着実な効果が感じられる。

本事業は、京都府、京都市、京都商工会議所、(財)京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、京染卸商業組合、西陣織物産地問屋協同組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」推進委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

当初は、着物での来館者に対する割引制度であったが、2003年度からは、「きものパスポート」持参のき

もの着用者は無料、同伴者は20%割引と、サービス内容が充実した。しかしながら、今年度からは、常設展入場料は引き続き無料であるが、特別展入場料については2割引となりサービス内容が若干変更された。利用者数は、特別展入館者は426人、常設展入館者は202人であった。

また、会期中には、別館ホールや本館エントランスを利用して、きものファッションコンテストや伝統産業の体験、実演など多彩なイベントを行い、特に週末や祝日は多くのお客様でにぎわった。映像ホールでは、「映画の中のきもの一粋でいなせな艶姿」と題して和装に関連した映画の上映も行った。

さらに、本事業に関連して、春に行われた「京都市伝統産業の日」[京都市主催、3月10日(土)～3月21日(水・祝)]の事業にも併せて協力した。春の実施期間には、特別展への入館者は689人、常設展への入館者は48人であった(特別展、常設展とも入場無料)。

加えて昨年度から、成人の日[1月8日(月・祝)]も、きもの着用者については無料とした。ただし利用者はなかった。

### ⑤「ミュージアムぐるっとパス関西2006」への参加

関西の2府3県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀)の64施設と島根県の1施設、合計65施設(2005年度は60施設)で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2006」事業を実施した。主催は前述の65施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2006」実行委員会である。1冊1,000円で販売するパスを購入すると、最初の利用日から3ヶ月間(2005年度は2ヶ月間)、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、常設展が無料、特別展が2割引となる特典を設定した。

今年度の当館での利用者は、常設展641人、特別展1,390人であった。

## 6. ギャラリー事業

### 6-1 5・6階展示室

#### (1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希

望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2006年度の委員会は以下のとおり開催した。

#### 展示室運営委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2006年 7月 7日	2006年 12月～2007年 3月	12
10月31日	2007年 4月～2007年 7月	18
2007年 2月28日	2007年 8月～2007年 11月	22

#### (2) 美術・工芸作家の利用

当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイ

ン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2006年度の利用件数は、44件であった。

#### 作家利用一覧

会 期	展覧会名	分 野	会 期	展覧会名	分 野
2006. 4.18～23	江明賢墨彩画個展	日本画 (水墨画)	10.17～22	大門清次と仲間展	洋 画
4.21～23	辛酉会書展	書	10.18～22	岩崎狂雲を偲ぶ会	諸工芸
4.26～30	DAYTON/ 京都版画国際交流展	洋 画	10.18～22	蒼蒼展	洋 画
4.25～30	松井孝 明子陶展	陶 芸	10.18～22	書の会「躍」展	書
4.26～30	日本画光玄展	日本画	10.25～29	面法会能・狂言面展	諸工芸
4.26～30	四月の会	書	10.25～29	京の名工展	工 芸
4.26～30	光勲能面会展	諸工芸	11.22～26	創工会展	工 芸
5.24～28	京都書作家協会会員展	書	12.20～24	謝春林巡回展	日本画 (水墨画)
6.14～18	王石明書画展	日本画 (水墨画)	12.20～24	帆の会展	洋 画
6.15～18	梶幸かなもじ展	書	2007. 1.10～14	本居宣一写真展	写 真
6.20～25	竹田武史写真展	写 真	1.11～14	京都現代書芸展	書
6.21～25	種々展	日本画	2. 3～ 4	水明道会墨聚展	書
6.21～25	莽生展	日本画	2.23～25	京都橘女子大学日本語日本文学 科書道コース・大学院文学研究 科言語文化専攻卒業制作展	書
6.21～25	染・四君子の会展	染 織	3.14～18	全国水墨画協会選抜展	日本画 (水墨画)
7. 5～ 9	2006 京都日本画家協会選抜展	日本画	3.21～25	あまがつ会 50 周年記念作品展	諸工芸
8.22～27	無限展 vol.3	洋 画	3.21～25	白土会洋画作品展	洋 画
8.22～27	京都丹平写真展	写 真	3.21～25	面風會展能・狂言面	諸工芸
8.22～27	六齋会篆刻作品展	書	3.28～4/1	大塚亮治能の世界展	諸工芸
8.30～9/3	ファインド・アイ現代文人光画展	写 真	3.28～4/1	汎具象会友と受賞作家展	洋 画
9.20～24	光風工芸「明日へのかたち」展	工 芸	3.28～4/1	井上希美枝作品展	染 織
9.20～24	平安書道会聚英展	書	3.28～4/1	蒼龍展	書
9.21～24	京都ユネスコ協会美術工芸展	総 合			
9.28～30	絵更紗画林展	染 織			
			計 44 件 (98 日間)		42,139 人

### 作家利用分野別入場者

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	8	7	11	4	0	0	3	1	6	3	1	44
割合	18%	16%	25%	9%	0%	0%	7%	2%	14%	7%	2%	100%
入場者数	9,103	4,402	8,898	4,886	0	0	1,432	996	5,673	6,175	574	42,139
1件平均入場者数	1,138	629	809	1,222	0	0	477	996	946	2,058	574	958

### (3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

### 生涯学習利用分野別入場者数

会場	会期	展覧会名	分野	入場者数	
5階	2006. 4. 6～ 4. 9	第23回 桃夭会日本画展	日本画	495	
	4. 7～ 4. 9	アールリベ創作人形展	諸工芸	551	
	4.12～ 4.16	華やいで春ペドール展	諸工芸	1,865	
	4.12～ 4.16	ぶ・ら・り京都 2005 フォトクラブアースポケット写真展	写真	610	
	4.13～ 4.16	第15回 ふしぎな花倶楽部押花アート展	諸工芸	1,109	
	5. 4～ 5. 7	鎌倉彫後藤会 創立50周年記念展	諸工芸	1,247	
	5.17～ 5.21	京都画壇の異端児 会津勝巳遺作展	日本画	1,349	
	5.24～ 5.28	紫明写真クラブ 第17回 作品展	写真	668	
	6. 8～ 6.11	Belle Forme Shadow Box 展 V	諸工芸	1,072	
	6. 8～ 6.11	TEXTILE 切る・塗る・透かす三人展	染織/染色	600	
	6. 8～ 6.11	彩素会絵更紗展	染織/染色	642	
	6.16～ 6.18	二十周年記念 佳趣会書展	書	407	
	6.27～ 7. 2	第24回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展関西展	洋画	1,593	
	7.13～ 7.17	日韓結び文化京都展 第11回 国際結び展	諸工芸	1,607	
	7.20～ 7.23	第4回 大阪成蹊大学芸術学部美術工芸学科3年生展	(美術)総合	476	
	8. 2～ 8. 6	第30回 全国高等学校文化祭写真部門	写真	2,526	
	9.14～ 9.17	栄美子戸田 ロープとニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,246	
	10. 5～ 10. 8	第17回 早蕨会書展	書	739	
	10. 5～ 10. 9	“Reflection” photographs & silver works 展	諸工芸	452	
	10. 6～ 10. 9	細川流盆石展	諸工芸	758	
	10. 6～ 10. 9	京の雪隠 京焼・清水焼「絵付けトイレットリー」の空間提案展	諸工芸	836	
	10.12～ 10.15	小野木彫教室 作品展示	諸工芸	782	
	11. 2～ 11. 5	QUILT HOUSE あんだんて 第9回 パッチワークキルト作品展	諸工芸	3,671	
	11.11～ 11.15	宗圓しおみ回顧展	日本画	429	
	11.15～ 11.19	un complot secret ～ひそかなたくらみ～	諸工芸	267	
	12. 1～ 12. 3	天道写真塾 読売ばるる教室作品展	写真	617	
	12. 5～ 12.10	財団法人 中信美術奨励基金設立20周年記念展	(美術)総合	1,277	
	12.14～ 12.17	AMUSE ART JAM 2006 in Kyoto	(美術)総合	2,210	
	2006.	1. 5～ 1. 8	大藪沙羅書芸教室 新春書芸展	書	1,307
		1.10～ 10.14	地鉄の美学〈肥後象がんの歴史と今〉	諸工芸	437
		1.19～ 1.21	京都展・美装	(美術)総合	753
		2. 9～ 2.12	「京の伝統工芸新人作品展」京都伝統工芸専門学校第11回卒業記念展	(工芸)総合	4,408
2.15～ 2.18		京都工芸繊維大学造形工学科 卒業制作展	(美術)総合	1,134	
3. 2～ 3. 4		第20回 全国シルバー書道展京都展	書	1,256	
3. 8～ 3.11		17回 森小夜子人形教室展	諸工芸	1,704	
3. 8～ 3.11		第24回 桃夭会日本画展	日本画	641	
3.14～ 3.18		全国公募 第29回 全国水墨画秀作展	日本画	2,968	
3.28～ 4. 1		大塚亮治能面教室展	諸工芸	598	
計 38件 使用日数：162日				45,307	



会場	会期	展覧会名	分野	入場者数
6階	2006. 4.22	平成18年染織光悦會展	染織／染色	494
		5.13～5.14 第八回 琴嶺會書展	書	895
	5.27～5.28	第三回 五風會篆刻展	書	438
		6.13 体験学習「京焼給付け」	その他	269
	7.2	体験学習「座禅」	その他	197
		7.8 立命館大学国際関係学部授業	その他	31
	7.30	第12回 あねさん亭文博寄席	その他	70
		8.1～8.3 (財)片山家能楽・京舞保存財団 第10回 能装束・能面展	(工芸)総合	1,263
	10.11～10.15	玉村咏展 一四季の京色香一	染織／染色	545
	10.18～10.19	第34回 シニア大学学園文化祭	(美術)総合	451
	10.21～10.22	第35回 表芸展	その他	293
	10.27～10.29	アトリエ・ラルジャン飾金教室 第9回 作品展	諸工芸	409
	10.31～11.4	第6回「紬と織の公募展」	染織／染色	1,163
	11.11～11.12	第九回 竹心展	書	263
	11.11～11.12	叡山学院墨跡展	書	201
	11.17～11.19	第44回 龍門社選抜書展	書	1,018
	11.24～11.26	あしへ會書展	書	432
	2007. 1.14	第13回 あねさん亭文博寄席	その他	64
		2.10～2.12 食文化・食育推進事業春への誘い ～インスピレーションは「源氏物語」より～	その他	2,400
		3.20～3.21 「がんばる丹後」丹後織物展示会	その他	265
3.31 古都の夕暮れに伝統芸能を楽しむ「生け花と能の会」		その他	150	
計 21件 使用日数：46日				11,311

#### 生涯学習利用分野別入場者数

会場	和装 呉服	美術								工芸					美術 工芸 総合	総計
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	-	5	1	4	4	0	5	19	2	0	16	1	19	-	38
	日数	-	22	6	14	18	0	21	81	8	0	69	4	81	-	162
	人数	-	5,882	1,593	3,709	4,421	0	5,850	21,455	1,242	0	18,202	4,408	23,852	-	45,307
6階	件数	-	0	0	6	0	9	1	16	3	0	1	1	5	-	21
	日数	-	0	0	14	0	13	2	29	11	0	3	3	17	-	46
	人数	-	0	0	3,247	0	3,739	451	7,437	2,202	0	409	1,263	3,874	-	11,311

※6階「その他」は体験学習、落語会等。

#### (4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

場所	和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計	
5階	件数	5	0	2	5	0	12
	日数	10	0	5	13	0	28
	人数	2,000	0	1,630	3,694	0	7,324
6階	件数	20	0	0	0	0	20
	日数	41	0	0	0	0	41
	人数	3,950	0	0	0	0	3,950

※美術：日本画、洋画、書、写真など

※工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

## 6-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

シオン、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

### 別館利用状況

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
4.1	chori / 童司ユニット結成記念公演	11.7	京都トランペットグループ「Autumn Leaves」レギュラーコンサート vol.6
4.7	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	11.8	六人組～フランス音楽の軌跡
4.8	パッハアカデミー関西 カンタータシリーズ第 18 回「復活祭のカンタータ」		ーレクチャー & ピアノリサイタルー
4.9	京都 C. モンテヴェルティ合唱団 第 35 回定期公演	11.10	川村結花 2006 LIVE / PIANO Seasons ～ Vol.2
4.15	Concert au Printemps	11.18～19	きもの解放区「おすましのススメ」
	“春萌ゆるころ 桜色のフルート舞う…”	11.23	マ・ノン・トロッポコンサート Vol.3 ～花に寄せて～
4.23	第 5 回 子ども絵てがみコンテスト	11.24～26	「京都 “和座” フェスタ」
5.3	「うた」二階堂・安藤		～和風文化工芸品のフリーマーケット～
5.6	二村英二コンサート	12.1	あんさんぶる やしよめ ～箏のしらべにのせて～
5.9	カルテット・エクセルシオ	12.2	プレヒト 三文オペラ
	弦楽四重奏演奏会 第 1 回京都定期公演	12.3	クラシックコンサート
5.12	埼玉県立春日部市立豊春中学校合唱講習会	12.8	「栗コーダーのクリスマスⅡ」発売記念ツアー
5.13～14	きょうと文博骨董まつり	12.9	グループ朝 第 24 回コンサート
5.19～21	京都文化博物館「古本市」	12.10	萩原由美・庵原万喜子の世界 ショパン～
5.23～26	黒田アキ COSMOGARDEN 5		ビルマの堅琴まで 時代と共に受け継がれる名作
5.27	ただだけいこ「歌のコンサート」Vol.7	12.14～17	AMUSE ART JAM 2006 in Kyoto
5.28	Jazz at Sanjo Bunka Museum	12.22	The Mostly Piano Duo によるスメタナ連作交響詩
7.8	Z 感 KAN KYOTO Core Life Stage		「わが祖国」ピアノ連弾版全曲演奏会
7.9	おがたまの木コンサート	12.23	翔ユリ子クリスマスコンサート
7.17	soboro DIAROGUE 01	12.24	2006 CHRISTMAS CONCERT 京都室内合唱団
7.22	歌の花束		第 11 回 定期演奏会
7.23	シンポジウム「京都から古代を考える」	12.26	JM コンサート
7.29	小幡亨スーパーカッションコンサート	1.6～7	きょうと文博骨董まつり
7.30	Felix 室内合奏団 第 18 回演奏会	1.19～21	京都展・美奏
8.2～5	東京工芸大学写真展	1.27	春を告げるエンブリオコンサート
8.20	ANDANTE ピアノコンサート	1.28	アマデウス・クラシック・ライブラリー・7
8.27	ムジカ デ フィガロ		ヴォーカル・アンサンブルの楽しみ
9.6	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	2.2	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
9.12	soboro DIAROGUE 02	2.10～12	食文化・食育推進事業 春への誘い
9.14	京都シティープラスアンサンブルコンサート		～インスピレーションは「源氏物語」より～
9.16～18	三条あかり景色 2006	2.16	京都工芸繊維大学建築設計学専攻講演会
9.22～23	きょうと文博骨董まつり	2.18	連続講演会マンガミュージアム発・
9.24	Bridal Event		マンガの未来へ 第 2 回 マンガと歴史観
9.27	シルクロードの音楽と文化の夕べ	2.28～3.4	京都科学技術専門学校写真学科 2007 年作品展
9.29～30	〈服育〉発表会 2006 京都展	3.7	ミュージックグリーティングコンサート
10.1	京都きものリフレクション 2006 ーShow&Liveー	3.8～11	専門学校 飛騨国際工芸学園
10.7～9	京都アートフリーマーケット 2006 秋		show & shop 2007 卒業・進級制作展
10.11～13	KYOTO BRETH 3rd	3.13	「イタリア音楽のあしあと」
10.14	沢木順コンサート 2006		ー 400 年の時を超える古楽の肖像ー
	＝八洲秀章・古賀政男音楽博物館顕彰記念＝	3.15～16	京鹿の子絞工芸展
10.15	The Mostly Piano DuoLive7	3.17	全国水墨画協会 講演会・表彰式
10.21～22	古代恵子墨彩画教室展	3.18	響き合う形と音
10.24～25	Molteni & C in KYOTO		ー水墨画とジャズの即興コラボレーションー
10.27～29	第 8 回 佐々木真弓アトリエエンジェル	3.20～21	KPA 京プリント後継者育成事業
	スタンドグラスランプ展		「メイキング・ワークショップ 2007」
11.1～2	KIMONO「和今洋際」	3.23～25	京都アートフリーマーケット 2007・春
11.4	ソシエテ：アレ・シャンテ	3.27	あさがおプラスクインテット
	10me STAGE 発表会 2006		with percussion プラス de ナイト!! vol.1
11.5	ティータイムもディナータイムも音楽で乾杯！	3.30～4.1	第 2 回京都文化博物館京都ふるほん博覧会

入場者数 計 87,445 人

## 7. 管理・運営

### 7-1 経営・企画委員会

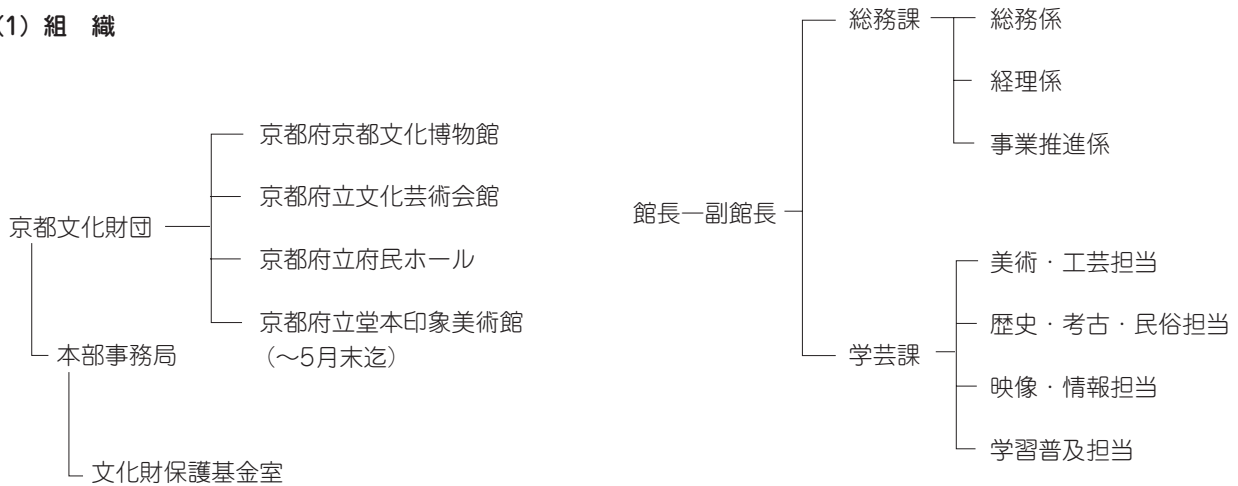
2004年8月11日の第1回「経営・企画委員会」の開催以来、博物館の活性化へ向けての取り組みが本格的に始動した。「経営・企画委員会」内には「中期展望・常設展・IT」「マネージメント・特別展情報収集等」「別館活用」にかかわる小委員会が設けられ、活発な議論が交わされた。また、助言、提言を具体化させ、

運営、経営改善に反映させるために、調査審議機関として博物館職員で構成する「経営・企画会議」をもっている。

2006年度は10月5日に常設展リニューアル検討ワーキング・グループ会議を行い、リニューアルの方向性について各委員より貴重なご意見をいただいた。

### 7-2 組織と職員

#### (1) 組織



※総務課(総務・経理係)は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

#### (2) 京都文化財団役員

##### 役員名簿

2007年(平成19年)3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	林田悠紀夫	元京都府知事	理事	田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	山田 啓二	京都府知事		角田 文衛	古代学協会理事長
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長		堂本 元次	日本画家
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		西村 恭子	美術プロデューサー
副理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元		野中 信夫	NPO MCEI 専務理事
	麻生 純	京都府副知事		日比野光鳳	書家 *
常務理事	鈴木 眞咲	京都文化博物館副館長	*	藤田 哲也	京都府教育委員会委員長
理事	有馬 頼底	相国寺管長		増田 正蔵	京都新聞社代表取締役会長兼社長
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		村井 康彦	京都市美術館館長
	井上八千代	京舞井上流家元		村田 純一	京都商工会議所会頭
	今井 政之	陶芸家		山本 壯太	NHK 大阪文化センター取締役総支社長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		下田 元美	京都府府民労働部文化芸術室室長
	江里佐代子	截金作家	*	岡田 博邦	京都銀行協会専務理事
	奥村 泰三	京都府社会教育委員連絡協議会会長	監事	大槻 茂	京都府出納管理局局長 *
	神林 恒道	立命館大学アート・リサーチセンター長			

\* 2006年6月28日就任

### (3) 京都文化博物館職員

#### 職員名簿

2007年(平成19年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003.6～
	副館長	鈴木 真咲	館業務総括	財団常務理事・事務局長 2006.6～
総務課	課長・事業推進係長事務取扱 参事・総務係長事務取扱 主幹 経理係長 主任 主事 参事・文化財保護基金室長 主任 主事 主事 嘱託 主任	藤井 貢 金田 暁 丹新 正雄 森木 礼子 佐藤 幸央 海老名和孝 上田 勝 森 雅樹 磯野真知子 市川 彰 渡辺紀久子 杉浦美香代	課総括 総務係 経理係 経理係 総務係 総務係 総務課兼務 事業推進係 事業推進係 事業推進係 事業推進係 堂本印象美術館	財団本部事務局兼務 2004.5～ 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局文化財保護基金室 2005.4～ 2006.4～ 学校法人立命館出向
学芸課	課長・映像情報室長事務取扱 参事(主任学芸員) 主任学芸員 主任学芸員 学芸員(主任) 学芸員(主任) 学芸員(主任) 学芸員 学芸員 学芸員(主任) 嘱託 嘱託	畑 智子 鈴木 忠司 植山 茂 南 博史 藤本 恵子 長舟 洋司 洲鎌佐智子 野口 剛 横山 和弘 森脇 清隆 井上 大輔 青木 完一	課総括 歴史担当 歴史担当 歴史担当 工芸担当 美術担当 工芸担当 美術担当 歴史担当 映像・情報担当 映像・情報担当 映像	2006.6～ 2006.10～ 常勤 2005.4～ 非常勤

## 7-3 施設

### (1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・(株)久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.35㎡(別館を含む)

建築面積：3,481.04㎡(別館を含む)

延床面積：15,827.42㎡(別館を含む)

本館床面積内訳：

地階 2,242.42㎡／1階 2,265.29㎡

2階 1,853.39㎡／3階 1,908.79㎡

4階 1,442.19㎡／5階 1,442.19㎡

6階 1,218.28㎡／7階 1,010.43㎡

塔屋 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

### (2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月～

1906(明治39)年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積—819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積—187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指 定：重要文化財

指定名称—旧日本銀行京都支店

指定年月日—1969年3月12日

指定書番号—建第1,708号

## 7-4 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、別館店舗は新規に店舗公募をし、JARFO、アートン、和座百衆、三条通ウッドデッキにてオーガニックカフェ soboro が営業を開始した。

ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協働会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は211,668人であった。

### ① ろうじ店舗一覧

◇紙の店 — 楽紙館

◇京しゅみ — 菰軒

◇京のエッセンス17舗名店会（順不同）

薫香 — 松栄堂	京麩 — 半兵衛麩
念珠 — 福永念珠舗	京菓子 — 鼓月
京佃煮 — 野村	宇治茶 — 福寿園
京扇子 — とくの	京象嵌 — 川人象嵌
八つ橋 — 井筒八つ橋	京の雅 — 古澤仙壽堂

京小間物 — 光悦	野菜せんべい — 京煎堂
京風雅便箋 — 表現社	化粧小物 — 左り馬
縮緬小物 — くろちく	京つけもの — 西利
竹の匠 — 高野竹工	

◇町家料理鳥彌三 — あざみ（平成16年11月入店）

◇手打ちそば・蕎麦料理 — 有喜屋

◇豆腐料理 — 有福

◇エスプレッソコーヒーの店 — コロラドコーヒー

◇織屋直販店 — ショップ西陣（順不同）

風呂敷 — 上羽機業	絹のれん — 渡文
ネクタイ — 段下二郎	綴れグッズ — 暁山織物
西陣金欄 — 岱崎織物	金欄・人形 — もりさん

◇ミュージアムショップ — 便利堂

◇珈琲サロン（別館） — 阿蘭陀館

### ② 別館店舗一覧

◇Contemporary Art JARFO 京・文博

◇アートギャラリー arton

◇住遊生活 — 和座百衆

◇Social Design Café soboro

### ③ 博和会・ろうじ行事

### ろうじ店舗東側通路の利用状況（平成18年度）

区分	名称	月 日
博和会行事	呉美の市	5月19日～21日
	京扇子とくの	7月15日～17日
	呉美の市	9月15日～18日
	呉美の市	11月17日～19日
	呉美の市	2007年 3月16日～18日
地域活用	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト	4月23日～5月7日
	高倉小学校卒業生生け花展	2007年 2月20日～22日
	池坊華道会生け花展	3月10日～12日
館内利用	アートフリーマーケット	10月 7日～ 9日
	アートフリーマーケット	2007年 3月23日～25日

## 8. 2006(平成18)年度のあゆみ

※事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「RE」は路店店舗東側通路の略

月 日	事 項	月 日	事 項
2006年			
4月 1日	「京の食文化展」講演会 (久保氏 /AH)	22日	別館築 100周年記念「ミュージアムコンサート」 (AH)
1日	chori/ 董司ユニット結成記念公演 (AH)	24日	「印象派と西洋絵画の巨匠展」講演会 (永井氏 /MH)
2日	「京の食文化展」式包丁実演 (小西氏 /AH)	24日	別館築 100周年記念「近代建築探検ツアー」 (～25日 /AH・三条通)
4日	美術工芸常設展「京都府所蔵品から 日本へのまなざし・西洋へのまなざし」 (～5月28日 /3階)	7月 5日	美術工芸常設展「センス・オブ・ウーマン」 (～10月9日 /3階)
7日	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会「復活祭のカンタータ」 (AH)	8日	歴史常設展展示解説 (南 /2階)
8日	パッハアカデミー関西カンタータシリーズ第 18回 (AH)	8日	Z感 KAN KYOTO Core Life Stage (AH)
9日	「MOK の会」新人研修 (7階サロン)	9日	おがたまの木コンサート (AH)
9日	京都 C. モンテヴェルティ合唱団 第 35 回定期公演 (AH)	14日	祇園祭協賛ミュージアムコンサート (～16日 /AH)
15日	Concert au Pringtemp “春萌ゆるころ桜色のフルート舞う…” (AH)	17日	「北斎と広重展」開催 (～8月17日 /4階)
18日	歴史特別陳列「誓願寺門前凶屏風」 (～5月14日 /2階)	17日	soboro DIAROGUE 01 (AH)
21日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ XV 第 4 夜 (AH)	18日	「北斎と広重展」ギャラリートーク
23日	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト (～5月7日 /RE)	19日	「北斎と広重展」ワークショップ (ユアサ氏)
23日	第 5 回子ども絵てがみコンテスト (AH)	19日	歴史特別陳列「平安京の瓦がかたるもの」 (～11月19日)
25日	「発明王エジソン展」開催 (～5月28日 /4階)	21日	「北斎と広重展」ギャラリートーク
29日	「発明王エジソン展」講演会 (足立氏 /AH)	22日	友の会第 2 回見学会宇治上神社から白川集落
30日	歴史常設展展示解説 (大塚 /2階)	22日	歌の花束 (AH)
30日	「発明王エジソン展」講演会 (幸田氏 /AH)	23日	「北斎と広重展」ワークショップ (ユアサ氏)
5月 3日	「うた」二階堂・安藤 (AH)	23日	シンポジウム「京都から古代を考える」 (AH)
5日	エジソン展開連企画「手作り電池教室」 (杉山氏 /AH)	24日	「北斎と広重展」ギャラリートーク
6日	二村英二コンサート (AH)	25日	歴史常設展展示解説 (南 /2階)
9日	カルテット・エクセルシオ 弦楽四重奏演奏会第 1 回京都定期公演 (AH)	28日	「マリアテレジア展」開催 (～10月9日 /4階)
11日	埼玉県立春日部市立豊春中学校合唱講習会 (AH)	29日	歴史常設展展示解説 (南 /2階)
13日	きょうと文博骨董まつり (～14日 /AH)	29日	小幡亨スーパーカッションコンサート (AH)
16日	歴史特別陳列「明治年号を持つ民具」 (～7月17日 /2階)	30日	「マリアテレジア展」講演会 (山之内氏 /AH)
18日	「MOK の会」新人研修 (7階サロン)	30日	Felix 室内合奏団第 18 回演奏会 (AH)
19日	京都文化博物館「古本市」 (～21日 /AH)	8月 2日	東京工芸大学写真展 (～5日 /AH)
19日	ろうじ呉美の市 (～21日 /RE)	7日	歴史常設展展示解説 (植山 /2階)
20日	歴史常設展展示解説 (南 /2階)	8日	博物館実習 (～11日)
23日	黒田アキ COSMOGARDEN5 (～26日 /AH)	12日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」開催 (～12月3日 /3・4階)
27日	ただだけいこ「歌のコンサート」Vol.7 (AH)	18日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ XV 第 6 夜 (AH)
28日	Jazz at Sanjo Bunka Museum (AH)	20日	ANDANTE ピアノコンサート (AH)
30日	エジソン展開連企画「手作り電池教室」 (杉山氏 /AH)	27日	ムジカデフィガロ (AH)
6月 3日	「別館築 100周年記念事業」開催 (～7月2日 /AH・3階)	9月 4日	歴史常設展展示解説 (植山 /2階)
3日	別館築 100周年記念「祇園囃子の実演」 (～4日 /AH)	6日	歴史常設展展示解説 (南 /2階)
8日	「印象派と西洋絵画の巨匠展」開催 (～7月17日 /4階)	7日	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会 (AH)
11日	「MOK の会」6月新人研修会 (7階サロン)	9日	「MOK の会」9月例会 (7階サロン)
17日	歴史常設展展示解説 (鈴木 /3階)	10日	「NHK 日曜美術館 30 年展」開催 (～1月21日 /3・4階)
17日	別館築 100周年記念「祇園囃子の実演」 (～4日 /AH)	12日	soboro DIAROGUE 02 (AH)
18日	「MOK の会」6月例会 (7階サロン)	14日	京都シティープラスアンサンブルコンサート (AH)
20日	友の会第 1 回見学会京都府庁旧本館、閑院宮邸跡	15日	ろうじ呉美の市 (～18日 /RE)
22日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ XV 第 5 夜 (AH)	16日	三条あかり景色 2006 (～18日 /AH)
		19日	「NHK 日曜美術館 30 年展」講演会 (高階氏 /AH)
		21日	第 5 回新京極映画祭連携企画上映信念の代償 ーいのち燃やします (～10月1日 /MH)
		22日	きょうと文博骨董まつり (～23日 /AH)
		24日	歴史常設展展示解説 (横山 /2階)
		24日	Bridal Event (AH)
		25日	京都府美術工芸新鋭選抜展 ～2007 新しい波～ (～15日 /4階)

26日	美術工芸常設展ワークショップ (藤本 /3階)	14日	AMUSE ART JAM 2006 in Kyoto (～ 17日 /AH)
27日	歴史常設展展示解説 (排師氏 /2階)	19日	歴史特別陳列「文明開花に花開いた洋食器」 (～ 2007年4月19日)
27日	シルクロードの音楽と文化のタベ (AH)	21日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ XVI 第2夜 (AH)
29日	〈服育〉発表会 2006 京都展 (～ 30日 /AH)	22日	The Mostly Piano Duo によるスメタナ連作交響詩 「わが祖国」ピアノ連弾版全曲演奏会 (AH)
10月 1日	京都きものリフレクション 2006 —Show&Live— (AH)	23日	翔ユリ子クリスマスコンサート (AH)
5日	第5回京都映画祭協賛企画上映 大映作品を彩った女優たち (～ 29日 /MH)	24日	2006 CHRISTMAS CONCERT 京都室内合唱団 第11回定期演奏会 (AH)
7日	京都アートフリーマーケット 2006 秋 (～ 9日 /AH/RE)	26日	JM コンサート (AH)
11日	KYOTOBRETH3rd (～ 13日 /AH)	<b>2007年</b>	
14日	沢木順コンサート 2006 ＝八洲秀章・古賀政男音楽博物館顕彰記念＝ (AH)	1月 6日	きょうと文博骨董まつり (～ 7日 /AH)
15日	The Mostly Piano DuoLive7 (AH)	14日	「MOK の会」1月例会 (7階サロン)
16日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」講演会 (呉氏 /AH)	19日	京都展・美奏 (～ 21日 /AH)
19日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」講演会 (趙昆氏 /AH)	27日	美術工芸常設展「吉川コレクションの人形と衣裳展」 (～ 3月28日 /3階)
19日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ XVI 第1夜 (AH)	27日	美術工芸常設展「近代の屏風絵寄託の優品を中心に」 (～ 3月28日 /3階)
21日	古代恵子墨彩画教室展 (～ 22日 /AH)	27日	美術工芸常設展「池大雅重要文化財柳下童子図の 魅力」 (～ 3月28日 /3階)
22日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」講演会 (南 /AH)	27日	春を告げるエンブリオコンサート (AH)
24日	Molteni & C in KYOTO (～ 25日 /AH)	28日	アマデウス・クラシック・ライブラリー・7 ヴォーカル・アンサンブルの楽しみ (AH)
27日	第8回佐々木真弓アトリエエンジェル ステンドグラスランプ展 (～ 29日 /AH)	2月 1日	京都府美術工芸新鋭選抜展 ～ 2007 新しい波～ (～ 2月15日 /4階)
11月 1日	KIMONO「和今洋際」 (～ 2日 /AH)	2日	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会 (AH)
2日	「着物の似合うまち・京都」推進事業企画上映映画 の中のきもの一粒でいなせな艶姿 (～ 12日 /MH)	3日	京都府美術工芸新鋭選抜展ギャラリートーク (～ 4日 /4階)
4日	ソシエテ・アレ・シャンテ 10ième STAGE 発表会 2006 (AH)	3日	美術工芸常設展示「京の黠めぐり」展開連企画ワー クショップ「手で触れる京の人形親と子の鑑賞会」 (3階)
5日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」講演会 (鶴岡氏 /AH)	10日	食文化・食育推進事業春への誘い ～インスピレー ションは「源氏物語」より～ (～ 12日 /AH)
5日	ティータイムもディナータイムも音楽で乾杯! (AH)	10日	京都府美術工芸新鋭選抜展ギャラリートーク (～ 11日 /4階)
7日	京都トランペットグループ「Autumn Leaves」 レギュラーコンサート vol.6 (AH)	16日	京都工芸繊維大学建築設計学専攻講演会 (AH)
8日	六人組～フランス音楽の軌跡 —レクチャー&ピアノリサイタル— (AH)	18日	連続講演会マンガミュージアム発・マンガの未来へ 第2回マンガと歴史観 (AH)
10日	川村結花 2006 LIVE / PIANO Seasons ～ Vol.2 (AH)	20日	高倉小学校卒業生生け花展 (～ 22日 /RE)
11日	別館築 100周年記念「オータムコンサート」 (～ 12日 /AH)	22日	歴史とともに音楽を楽しむ音楽会シリーズ XVI 第3夜 (AH)
11日	ふんばく・おこしやすフリーマーケット (京都文化博物館正面高倉通沿い)	24日	「近世 都の工芸展」開催 (～ 3月31日 /4階)
14日	ヘルムート・コイトナー監督作品特集 DVD 上映 (～ 29日 /MH)	24日	「近世 都の工芸展」講演会 (岡氏 /AH)
16日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」記念中国映画上映 (～ 19日 /AH)	28日	京都科学技術専門学校写真学科 2007年作品展 (～ 3月4日 /AH)
17日	ろうじ呉美の市 (～ 19日 /RE)	3月 7日	ミュージックグリーティングコンサート (AH)
18日	きもの解放区「おすましのススメ」(～ 19日 /AH)	8日	専門学校 飛騨国際工芸学園 show&shop 2007 卒 業・進級制作展 (～ 11日 /AH)
21日	歴史特別陳列「源氏物語若菜の巻」(～ 12月17日)	10日	歴史常設展展示解説 (植山 /2階)
21日	友の会第3回見学会仁和寺、同霊宝館	10日	池坊華道会生け花展 (～ 12日 /RE)
22日	「始皇帝と彩色兵馬俑展」古箏の演奏会 (蔡氏 /AH)	10日	「MOK の会」3月例会 (7階サロン)
23日	上方ルネッサンス 2005 楽劇の祭典協賛上映 「近松原作映画集—妻敵討ち二題」(～ 26日 /AH)	13日	「イタリア音楽のあしあと」 — 400年の時を超える古楽の肖像— (AH)
23日	マ・ノン・トロップコンサート Vol.3 ～花に寄せて～ (AH)	14日	友の会文化講座「近世 都の工芸」 (洲鎌 / AL・4階)
24日	「京都“和座”フェスタ」～和風文化工芸品のフリー マーケット～ (～ 26日 /AH)	15日	京鹿の子絞工芸展 (～ 16日 /AH)
12月 1日	あんさんぶるやしよめ ～箏のしらべにのせて～ (AH)	15日	京都太秦シネマフェスティバル協賛上映企画「世界 が認めた先達の仕事 —ぼんまもんの京都映画」 (～ 18日 /MH)
2日	プレヒト三文オペラ (AH)	16日	ろうじ呉美の市 (～ 18日 /RE)
3日	クラシックコンサート (AH)	17日	「近世 都の工芸展」体験講座 (～ 18日 /AH)
8日	「栗コーダーのクリスマスⅡ」発売記念ツアー (AH)	17日	全国水墨画協会 講演会・表彰式 (AH)
9日	グループ朝第24回コンサート (AH)		
10日	萩原由美・庵原万喜子の世界 ショパン～ ピルマの豎琴まで 時代と共に受け継がれる名作 (AH)		

3月 18日	響き合う形と音 ー水墨画とジャズの即興コラボ レーションー (AH)	24日	「近世 都の工芸展」講演会 (洲鎌 /AH)
20日	KPA 京プリント後継者育成事業 「メイキング・ワークショップ 2007」 (~ 21日 /AH)	27日	あさがおプラスクインテット with percussion プラス de ナイト !! vol.1 (AH)
23日	京都アートフリーマーケット 2007・春 (~ 25日 /AH/RE)	30日	第2回京都文化博物館京都ふるほん博覧会 (~ 4月1日 /AH)



---

## 京都文化博物館2006(平成18)年度年報

発行日 2007年11月26日  
編集・発行 京都府京都文化博物館  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL 075-222-0888  
FAX 075-222-0889  
印刷 (株)吉川印刷工業所